

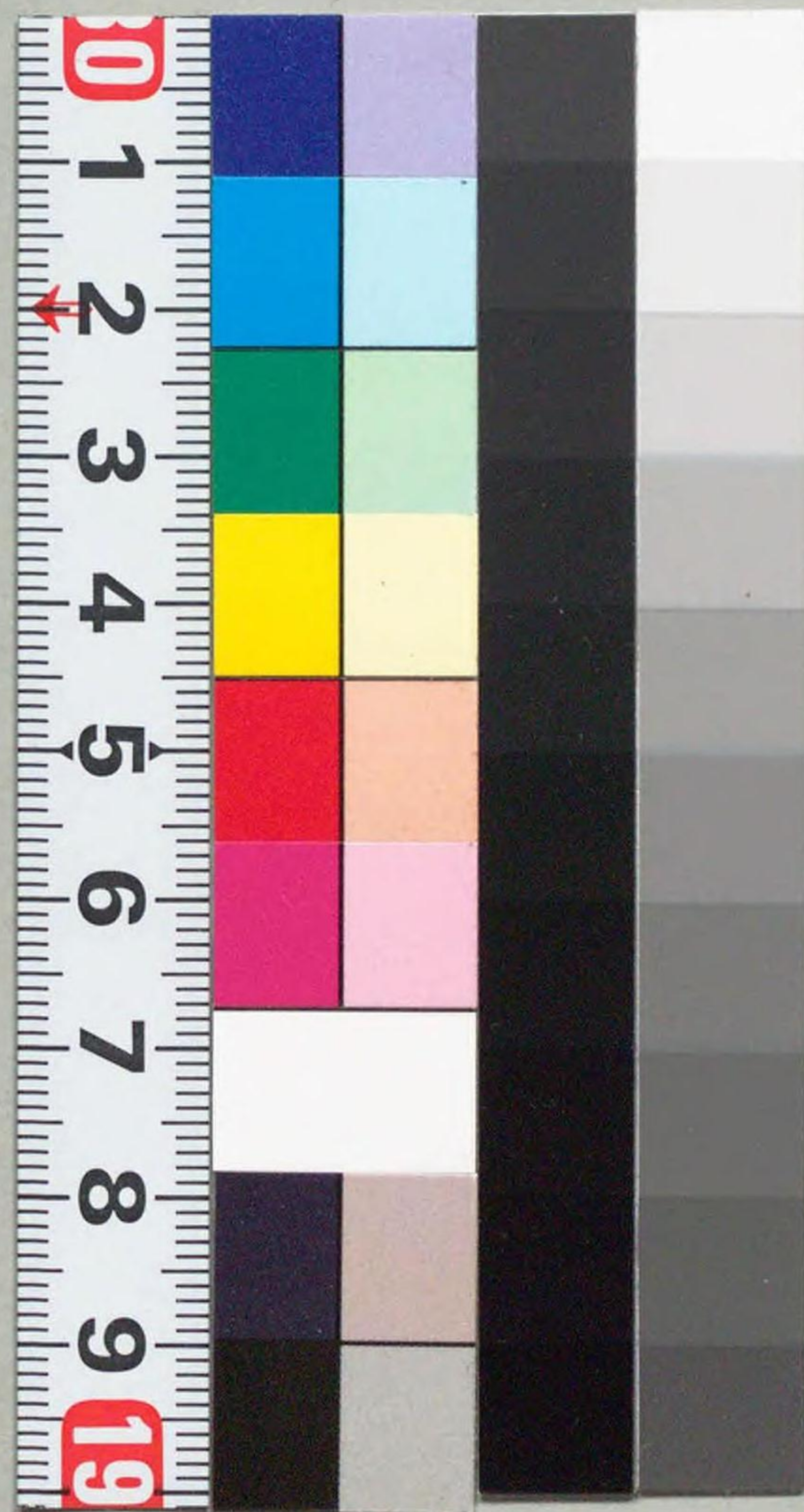
CZ-668-1

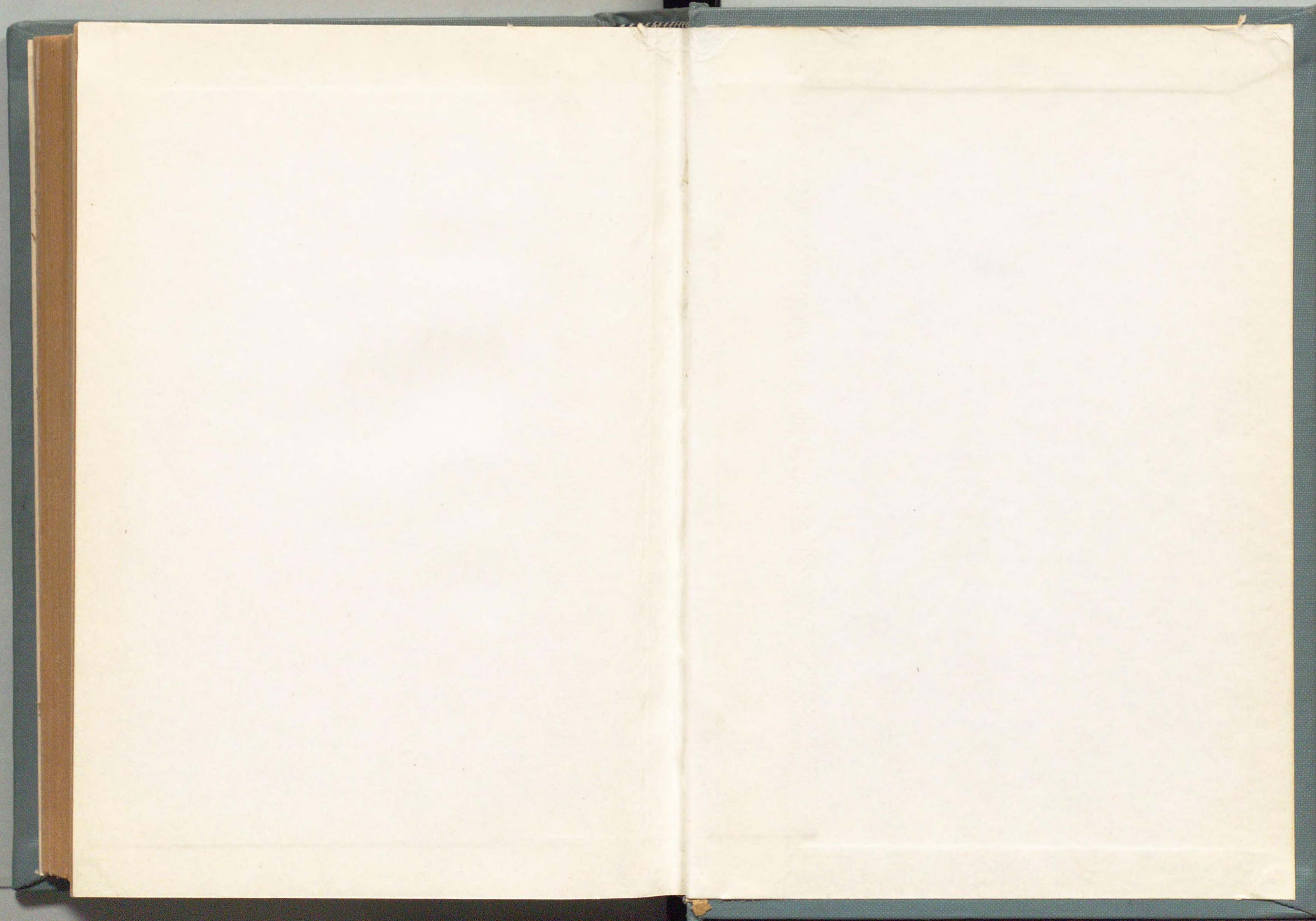


1200900286508

禁電子式複写

昭和18年12月現在





42+Q-16

第十八條關係

CZ
668
/



五五三

重要産業團體令

(昭和十六年八月三十日
勅令第八百三十一號)

改正 昭和十七年四月十五日第四百二十三號

第一章 總 則

第一條 國家總動員法(昭和十三年勅令第三百十七號ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ)第十八條ノ規定ニ基ク重要産業ニ於ケル事業ノ統制ヲ目的トスル團體ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ヲ適用スベキ重要産業ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 本令ニ依ル團體ハ統制會及統制組合トス

統制會又ハ統制組合ハ其ノ名稱中ニ統制會又ハ統制組合ナル文字ヲ用フベシ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 統制會

第四條 統制會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該産業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第五條 統制會ハ産業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

第六條 統制會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 當該産業ニ於ケル生産及配給並ニ當該産業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政

第十八條關係

一

府ノ計畫其ノ他當該產業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二 當該產業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル統制指導

三 當該產業ノ整備確立

四 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

五 當該產業ニ關スル調査及研究

六 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該產業ニ屬スル事業ニ關スル検査

七 前各號ニ掲グルモノノ外統制會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第七條 統制會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一 當該產業ヲ營ム者

二 當該產業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體

三 第一號ニ掲グル者及前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體

第八條 主務大臣統制會ヲ設立セシメントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制會ノ設立ヲ命ズベシ

(通十二) 七四四

(通八) 四五二

前項ノ規定ニ依リ統制會ノ設立ノ命令アリタルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ之ニ諮リテ定款其ノ他統制會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第九條 統制會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 會員ニ關スル規定

五 事業及其ノ執行ニ關スル規定

六 役員ニ關スル規定

七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

第十條 統制會ハ第八條第二項ノ認可アリタル時又ハ國家總動員法第十八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ統制會成立ノ旨及定款ヲ告示スベシ

第十一條 統制會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ統制會ノ會員トス

第十二條 統制會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

第十八條關係

三

會長 一人
 理事 若干人
 監事 若干人
 評議員 若干人

四

統制會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會長二人以内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條 會長ハ統制會ヲ代表シ當該產業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長
 缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代
 理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長
 及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長
 ノ職務ヲ行フ

監事ハ統制會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス
 評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

(追八) 四五二

第十四條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ銓衡委員ハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

副會長、理事長、理事及評議員ハ當該產業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命
 ズ

監事ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

第三項ノ規定ニ依ル副會長、理事長及理事ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效
 カヲ生ゼズ

主務大臣第一項ノ規定ニ依ル任命又ハ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十五條 統制會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年
 副會長 三年
 理事長 三年
 理事 三年
 監事 二年
 評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十八條關係

五

(追八) 四五三

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十六條 會長、副會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 統制會ハ當該産業ニ關スル事項ニ付關係各大臣ニ建議スルコトヲ得
統制會ハ關係各大臣ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十八條 統制會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ當該産業ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ資料ノ提出ヲ求メラレタル者ハ遲滯ナク之ヲ提出スベシ

第十九條 統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第二十條 統制會ハ其ノ事業ヲ行フ爲テ必要アルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十一條 統制會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款又ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十二條 第十九條若ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ
(追八) 四五四

統制會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ統制會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十三條 統制會ハ其ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制規程ヲ設定スベシ

第二十四條 定款ノ變更並ニ統制規程ノ設定及變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

主務大臣前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二十五條 統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ當該統制會ノ統制規程ニ依ルベシ

第二十六條 統制會必要アリト認ムルトキハ統制會ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得
統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ズ

統制會第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證

票ヲ携帶セシムベシ

第二十七條 會長當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ノ理事、取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ行爲ガ左ノ各號ノ一ニ該當シ當該產業ノ統制運營上特ニ支障アリト認ムルトキハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ當該法人ニ對シ其ノ役員ノ解任ヲ命ズルコトヲ得但シ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 法令又ハ法令ニ基キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

二 公益ヲ害シタルトキ

三 統制規程ニ違反シタルトキ

第二十八條 通常總會ハ毎年一回會長之ヲ招集ス

會長必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十九條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第三十條 會長ハ毎年總會ニ統制會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシムベシ

第三十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ統制會又ハ

(追八) 四五六

(追八) 四五七

其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第三十二條 關係各大臣ハ統制會ニ對シ當該產業ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 主務大臣當該產業ノ統制運營上必要アリト認ムルトキハ統制會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條 主務大臣ハ統制會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

主務大臣必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十五條 主務大臣ハ會長ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該產業ノ統制運營上會長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

主務大臣ハ副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員ノ行爲ガ法令若ハ法令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シタルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

第十八條關係

九

八

主務大臣前二項ノ規定ニ依リ會長、副會長、理事長又ハ理事ヲ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三十六條 統制會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

主務大臣前項ノ命令ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第三章 統制組合

第三十七條 統制組合ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲當該産業ノ統制運営ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第三十八條 統制組合ハ一定地區ニ於テ産業ノ種類別ニ之ヲ設立ス

前項ノ地區ハ特別ノ場合ヲ除クノ外道府縣又ハ二以上ノ道府縣ノ區域ニ依ル

第三十九條 統制組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 當該地區内ノ當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導其ノ他組合員ノ當該産業ニ關スル事業ニ關スル統制指導

二 當該地區内ニ於ケル當該産業ノ整備確立

三 技術ノ向上、能率ノ増進、經理ノ改善其ノ他組合員ノ當該産業ニ關スル事業ノ發達ニ關スル施設

四 當該地區内ニ於ケル當該産業ニ關スル調査及研究

(追八) 四五八

(追八) 四五九

五 組合員ノ當該産業ニ關スル事業ニ關スル検査

六 前各號ニ掲グルモノノ外統制組合ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四十條 統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ主務大臣ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ於テ當該産業ヲ營ム者

二 當該地區内ニ於テ當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體

三 第一號ニ掲グル者及前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體

第四十一條 主務大臣統制組合ヲ設立セシメントスルトキハ閣令ノ定ムル所ニ依リ地區ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ統制組合ノ設立ヲ命ズベシ

第四十二條 統制組合ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 目的

二 名稱

三 地區

四 事務所ノ所在地

五 組合員ニ關スル規定

第十八條關係

- 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 七 役員ニ關スル規定
- 八 會議ニ關スル規定
- 九 會計ニ關スル規定

第四十三條 統制組合ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

統制組合ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副理事長二人以内ヲ置クコトヲ得

第四十四條 理事長ハ統制組合ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ組合事務ヲ總理ス

理事長ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ當該統制組合ノ所屬スル統制會ノ會長之ヲ命ズ當該統制組合ノ所屬スル統制會ナキトキハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズ

前項前段ノ規定ニ依ル理事長ノ任命ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十五條 第十三條第二項第四項乃至第六項及第十四條第三項乃至第五項ノ規定ハ統制組合ノ

(追八) 四六〇
(追十一) 七四五

副理事長、理事、監事及評議員ニ之ヲ準用ス

第四十六條 統制組合ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 理事長 三年
- 副理事長 三年
- 理事 三年
- 監事 二年
- 評議員 二年

理事長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ副理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十七條 統制會ノ會長ハ當該統制會ノ會員タル統制組合ノ理事長ノ行爲ガ法令又ハ法令ニ基

キテ爲ス行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シタルトキ其ノ他當該産業ノ統制運營上理事長ヲ不適當ナリト認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ解任ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十八條 統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第四十九條 統制組合ハ閣令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條關係

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ
第五十條 第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十
四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大
臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第三十六條第一項ニ規定スル場合ヲ
除クノ外行政官廳トス

第四章 雜 則

第五十一條 第十七條第二項、第三十二條第一項及第三十二條(各前條ニ於テ準用スル場合ヲ含
ム)並ニ第三十三條(前條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)以下本條及第五十二條ニ於テ同ジ)中關係
各大臣、行政官廳又ハ主務大臣トアルハ當該諮問、報告、臨檢検査又ハ命令ガ軍事上ノ必要ニ
基ク場合ニ於テハ陸軍大臣又ハ海軍大臣トス

陸軍大臣又ハ海軍大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスルトキハ當該統制會又ハ當該
統制組合ノ所管大臣ニ協議スベシ

第五十二條 當該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣第三十三條ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントス
ル場合ニ於テ當該命令ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協
議スベシ

第五十二條ノ二 第五十一條第一項、前條、第五十三條第一項第二項、第五十四條及第五十五條

(追十二) 七四六

(追十二) 七四七

ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣又ハ所管大臣トアルハ地方鐵道事業及軌道事業ノ統制會ニ關
シテハ鐵道大臣トス但シ第二十四條、第二十七條、第三十三條、第三十四條第一項(會計ニ關
スル場合ヲ除ク)及第五十一條第二項中主務大臣又ハ所管大臣トアルハ軌道事業ニ關スル事項
ニ付テハ鐵道大臣及內務大臣トス

第五十三條 第五十一條第一項ノ場合ヲ除クノ外本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當該統制會又
ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島(以下外地ト稱ス)ニ在リテ
ハ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第七條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ内地ニ在ルモノト同條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ外地ニ
在ルモノトヲ以テ組織スル統制會ニ關スル場合ニ在リテハ本令中主務大臣、關係各大臣又ハ當
該統制會又ハ當該統制組合ノ所管大臣トアルハ外地ノミニ關スル事項ニ關スル場合ニ限り前項
ノ規定ニ拘ラズ各朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官トス

第二十二條中市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ府邑面、臺灣ニ在リテハ市街庄、南洋群島ニ在リ
テハ南洋群島地方費トシ市町村稅トアルハ朝鮮ニ在リテハ國稅、臺灣ニ在リテハ市街庄稅、南
洋群島ニ在リテハ地方費稅トシ百分ノ四トアルハ朝鮮ニ在リテハ百分ノ五トス

第三十八條中道府縣トアルハ朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州又ハ廳、樺太及南洋群島ニ
在リテハ支廳管轄區域トス

第十八條關係

第二項ノ統制會ニ關スル場合ヲ除クノ外本令中閣令トアルハ朝鮮又ハ臺灣ニ在リテハ總督府令、樺太又ハ南洋群島ニ在リテハ廳令トス

第五十四條 主務大臣前條第二項ノ統制會ニ關シ左ニ掲グル處分ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ南洋廳長官ニ協議スベシ

一 第七條ノ規定ニ依ル指定又ハ第十四條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル任命但シ第七條ノ規定ニ依ル指定ハ同條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ外地ニ在ルモノヲ指定スル場合ニ限ル

二 第八條第一項、第三十三條又ハ第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令但シ第三十三條ノ規定ニ依ル命令ハ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ガ外地ニ於テ行フ事業ニ關スルモノナル場合ニ限ル

三 第八條第二項、第十四條第五項、第十五條第三項、第十六條、第二十條、第二十四條第一項又ハ第二十七條ノ規定ニ依ル認可但シ第二十條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スルモノニ對シ賦課金ヲ課スル場合、第二十七條ノ規定ニ依ル認可ハ當該統制會ノ會員タル法人又ハ會員タル團體ヲ組織スル法人ニシテ外地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スルモノノ役員ノ解任ヲ命ズル場合ニ限ル

四 第三十五條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル解任

(追十二) 七四八

(追十一) 七四九

キハ主務大臣ニ協議スベシ

一 第五十三條第二項ノ統制會ニ對スル第三十三條ノ規定ニ依ル命令

二 第五十三條第二項ノ統制會アル場合ニ於テ第四十一條ノ規定ニ依リテ爲ス當該產業ニ關スル統制組合ノ設立ノ命令

三 第五十三條第二項ノ統制會ノ會員タル統制組合ニ對スル第五十條ニ於テ準用スル第三十六條第一項ノ規定ニ依ル命令

第五十六條 本令ニ規定スルモノヲ除クノ外統制會及統制組合ニ關シ必要ナル事項ハ閣令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ昭和十六年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要産業團體令施行規則

(昭和十六年九月一日
閣令第十九號)

一八

第一章 統制會

第一條 主務大臣重要産業團體令(以下令ト稱ス)第八條第一項ノ規定ニ依リ統制會ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 産業ノ種類

二 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

前項ノ場合ニ於テ主務大臣ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ中ヨリ設立委員ヲ命ジ其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第二條 創立總會ヲ招集スルニハ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

第三條 左ニ掲グル事項ハ創立總會ニ諮リ設立委員之ヲ定ム

一 定款

二 統制會ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

(追十二) 七五〇

(追八) 四六七

三 初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル令第十九條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第四條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク統制會ノ設立認可ヲ申請スベシ

設立認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事録ノ謄本並ニ前條第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第五條 監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第六條 評議員ノ任命又ハ監事ノ選任アリタルトキハ統制會ハ遲滯ナク其ノ氏名及住所ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ

會長、副會長、理事長、理事、監事又ハ評議員辭任又ハ死亡シタルトキハ統制會ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ其ノ者ノ任期滿了シタルトキ亦同ジ

會長、副會長、理事長又ハ理事ニ付前項ノ届出アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第七條 統制會令第二十條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ主務大臣ニ提出スベシ

一 特別ノ賦課金ヲ必要トスル事由

二 特別ノ賦課金ノ收支豫算及賦課徵收方法

第十八條關係

一九

前項ノ申請書ニハ前項第二號ノ收支豫算ノ明細書及總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附スベシ

第八條 總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

第九條 每事業年度ノ收支豫算及令第十九條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法決定シタルトキハ統制會ハ遲滞ナク之ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ其ノ變更アリタルトキ亦同ジ

第十條 統制會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第十一條 主務大臣統制會ノ解散ヲ命ジタル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ當該統制會ノ主タル事務所ノ所在地ノ區裁判所ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

裁判所必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

裁判所清算人ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第十二條 清算人ハ統制會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十三條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ裁判所ノ認可ヲ受クベシ

裁判所必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナ

(追八) 四六八

(追八) 四六九

ル命令ヲ爲スコトヲ得

第十四條 統制會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

令第二十二條及第五十三條第三項ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第十五條 主務大臣ハ裁判所ニ對シ清算ニ關シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第十六條 統制會ノ清算終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

前項ノ通知アリタルトキハ主務大臣ハ其ノ旨ヲ告示スベシ

第二章 統制組合

第十七條 主務大臣令第四十一條ノ規定ニ依リ統制組合ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 産業ノ種類

二 地區

三 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

第十八條 第一條第二項第三項、第二條乃至第五條、第六條第一項第二項、第七條乃至第十條、

第十一條第一項乃至第四項、第十二條乃至第十五條及第十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ

第十八條關係

準用ス但シ主務大臣トアルハ第一條第二項及第十一條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トシ總會トアルハ總會又ハ總代會トシ第八條中會員トアルハ組合員又ハ總代會ヲ構成スル者トス

第十九條 統制組合成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 目的

二 名稱

三 地區

四 事務所

五 成立ノ年月日

六 理事長、副理事長及理事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十條 統制組合成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ノ所在地ニ於テハ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ既ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

(追八) 四七〇

(追八) 四七一

第二十一條 統制組合ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ第十九條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十二條 統制組合ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 統制組合ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 統制組合ノ清算終了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ清算終了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條 統制組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス各登記所ニ統制團體登記簿ヲ備フ

第二十六條 第十九條乃至第二十二條ノ規定ニ依ル登記ハ當該行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス
第二十三條及第二十四條ノ規定ニ依ル登記ハ裁判所ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第二十七條 登記シタル事項ハ裁判所遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十八條關係

第二十八條 非訟事件手續法第百二十五條第一項(第百五十條、第百五十條ノ三及第百七十七條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク)ノ規定ハ統制組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三章 雜則

第二十九條 令第二十六條第三項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號樣式ニ、令第三十一條第二項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號樣式ニ依ル

第三十條 令第五十條(令第三十一條第一項ノ規定ヲ準用スル場合ヲ除ク)及本令第十八條中行政官廳トアルハ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區ガ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超ユルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超ユルモノニ關スル場合ニ在リテハ主務大臣トシ鑛業若ハ砂鑛業ノ統制組合ニシテ地區ガ鑛山監督局ノ管轄區域ヲ超エザルモノニ關スル場合又ハ其ノ他ノ統制組合ニシテ地區ガ道府縣ノ區域ヲ超エザルモノニ關スル場合ニ在リテハ各鑛山監督局長又ハ地方長官トス

第三十一條 民法第七十九條、第八十條及第八十二條第二項並ニ非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條及第三十七條ノ二ノ規定ハ統制會及統制組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(追八) 四七二

(追十二) 三〇五

別記

第一號樣式 (用紙ノ大サハ日本標準規格A6トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス) (表面)

重要産業團體令第二十六條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

氏

當該統制會又
ハ統制組合印

名

國家總動員法第十八條第一項 政府ハ戰時ニ際シ國家總動員上必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ同種若ハ異種ノ事業ノ事業主又ハ其ノ團體ニ對シ當該事業ノ統制又ハ統制ノ爲ニスル經營ヲ目的トスル團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
同條第六項 第一項ノ團體又ハ會社ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
國家總動員法第三十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
二 第十八條第六項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者
重要產業團體令第二十六條 統制會必要アリト認ムルトキハ統制會ノ役員又ハ使用人ヲシテ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

(追十二) 三〇六

(追十二) 三〇七

統制會ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ前項ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ズ
統制會第一項ノ規定ニ依リ役員又ハ使用人ヲシテ檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ
重要產業團體令第五十條 第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第三十六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス
重要產業團體令施行規則第二十九條 令第二十六條第三項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號様式ニ、令第三十一條第二項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

別記

第二號様式(用紙ノ大サハ日本標準規格A6トシ中央點線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス)
(表面)

第十八條關係

重要産業團體令第三十一條ノ規定ニ依ル證票

(裏面)

第 號 昭和 年 月 日交付

當該官廳印

官 職 氏 名

(連十一) 三〇八
(連十三) 五三三―五三五

國家總動員法第三十一條 政府ハ國家總動員上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

國家總動員法第四十二條 第三十一條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

重要産業團體令第三十一條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ統制會又ハ其ノ會員若ハ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿、書類、設備其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

重要産業團體令第五十條 第八條第二項、第十條、第十一條、第十七條乃至第二十六條、第二十八條乃至第三十四條、第三十五條第一項第二項及第三十六條第一項ノ規定ハ統制組合ニ之ヲ準用ス但シ主務大臣又ハ關係各大臣トアルハ第八條第二項、第十條第二項及第三十六條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外行政官廳トス

重要産業團體令施行規則第二十九條 令第二十六條第三項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第一號様式ニ、令第三十一條第二項(令第五十條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ證票ハ別記第二號様式ニ依ル

重要産業指定規則左ノ通定ム (昭和十六年十月三十日 閣令第二十六號)

改正 昭和十七年四月八日第十二號、昭和十七年八月四日第二十號、昭和十七年十二月五日第三十一號、昭和十八年二月五日第一號

重要産業指定規則

重要産業團體令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用スベキ重要産業ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 鉄鋼ノ生産及販賣並ニ製鉄原料タル鉄鑛、マンガン鑛及鉄屑ノ販賣ニ關スル事業 (朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム)
- 二 石炭ノ生産及販賣ニ關スル事業
- 三 原動機 (發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車ヲ除ク) 及生産用機器ノ製造及販賣ニ關スル事業
- 四 電氣機器、發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車並ニ電氣通信機器ノ製造及販賣ニ關スル事業
- 五 精密機器ノ製造及販賣ニ關スル事業
- 六 車輛及鐵道信號保安裝置ノ製造及販賣ニ關スル事業 (朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム)
- 七 自動車ノ製造及販賣ニ關スル事業
- 八 セメントノ製造及販賣ニ關スル事業

五三六

(追十三) 五三七

- 九 鑛産物 (石炭、亞炭、石油及土瀝青ヲ除ク) ノ生産及販賣ニ關スル事業 (鉄鑛及ニツケル鑛ノ製鍊及販賣、アルミニウム、アルミナ及マグネシウムノ製造及販賣並ニ燐鑛、ボーキサイト及礬土頁岩ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク)
- 十 非鉄金屬ノ加工及其ノ加工品ノ販賣ニ關スル事業
- 十一 貿易業並ニ貿易ノ振興及統制ニ關スル事業
- 十二 造船事業 (朝鮮及臺灣ニ於ケル當該事業ヲ含ム)
- 十三 地方鐵道事業及軌道事業
- 十四 アルミニウム、アルミナ、マグネシウム、人造水晶石及弗化アルミニウムノ製造及販賣並ニアルミニウム屑、マグネシウム屑、ボーキサイト及礬土頁岩ノ販賣ニ關スル事業 (朝鮮及臺灣ニ於ケル當該事業ヲ含ム)
- 十五 化學工業品 (硫酸アンモニア、石灰窒素、過燐酸石灰、トーマス燐肥、化成肥料、硝酸、硝酸アンモニア、亜硝酸ソーダ、アンモニア、酸素、硫酸、ソーダ塩類、塩素、塩酸、晒粉、カーバイド、アセチレン系誘導品、醱酵ブチルアルコール、醱酵アセトン、メタノール及同誘導品、ガス輕油分溜物、コールタール分溜物、タール系中間物並ニ合成染料) ノ製造及販賣ニ關スル事業 (硫酸アンモニア、石灰窒素、過燐酸石灰、トーマス燐肥及化成肥料ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク)

十六 ゴムノ販賣並ニゴム製品ノ製造及販賣ニ關スル事業

十七 皮革及皮革製品並ニ鞣劑ノ製造及販賣ニ關スル事業

十八 油脂製品(硬化油、硬化蠟及脂肪酸ヲ含ム)及塗料ノ製造及販賣ニ關スル事業(朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム)

十九 綿ス・フ紡機ニ依ル綿糸、ステールブルファイバー糸其ノ他ノ糸ノ製造並ニ其ノ加工及販賣、綿ス・フ織機ニ依ル綿織物、ステールブルファイバー織物其ノ他ノ織物ノ製造並ニ其ノ加工及販賣、綿漁網ノ製造並ニ棉花ノ販賣ニ關スル事業

二十 絹紡機ニ依ル絹紡糸其ノ他ノ糸ノ製造並ニ其ノ加工及販賣、人絹パルプ、ステールブルファイバー及人造絹糸ノ製造、加工及販賣、生糸ノ加工及其ノ加工品ノ販賣、人絹絹織機ニ依ル人造絹織物、絹織物其ノ他ノ織物ノ製造並ニ其ノ加工及販賣並ニ副蚕糸ノ販賣ニ關スル事業

二十一 毛紡機ニ依ル毛糸其ノ他ノ糸ノ製造並ニ其ノ加工及販賣、毛織機ニ依ル毛織物其ノ他ノ織物ノ製造並ニ其ノ加工及販賣、フェルトノ製造、加工及販賣並ニ羊毛ノ販賣ニ關スル事業

二十二 麻製品ノ製造及販賣(綿ス・フ紡機、絹紡機又ハ毛紡機ニ依ル糸ノ製造及綿ス・フ織機、人絹絹織機又ハ毛織機ニ依ル織物ノ製造並ニ其ノ販賣ヲ除ク)並ニ麻ノ販賣ニ關スル事業

(進十三) 五三八

(進十) 四〇五

鐵鋼ノ生産及販賣並ニ製鐵原料タル鐵鑛、マンガン鑛及鐵屑ノ販賣ニ關スル事業(朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム)ノ統制會ハ昭和十六年十一月二十日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ(昭和十六年十一月二十一日 商工省告示第千八百二十二號)

鐵鋼統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ東亞共榮圈内ニ於ケル自主的鐵鋼業ノ確立ヲ期スル爲鐵鋼業ノ綜合的統制運營業ヲ圖リ且鐵鋼業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ鐵鋼統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ東京市ニ之ヲ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第二章 會 員

第四條 本會ハ鐵鋼ノ生産及販賣並ニ製鐵原料タル鐵鑛、マンガン鑛及鐵屑ノ販賣ニ關スル事業(朝鮮ニ於ケル當該事業ヲ含ム)ヲ營ム者及之等ノ事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體(以下鐵鋼業者ト稱ス)ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第十八條關係

第五條 前條ノ規定ニ該當セザル鐵鋼業者ニシテ商工大臣ノ承認ヲ受ケタルモノハ之ヲ會員ト看做ス

第三章 事業

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 鐵鋼ノ生産及配給並ニ鐵鋼ニ關スル事業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他鐵鋼ニ關スル事業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
- 二 鐵鋼ニ關スル原材料計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 三 鐵鋼ニ關スル生産計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 四 鐵鋼ニ關スル配給計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 五 鐵鋼ノ價格ニ關スル事項
- 六 鐵鋼ノ需給調整及價格調整ノ爲ノ施設ニ關スル事項
- 七 鐵鋼ニ關スル事業ノ整備確立ニ關スル事項
- 八 鐵鋼ニ關スル事業ニ要スル資材及資金ノ確保調達ニ關スル事項
- 九 鐵鋼ニ關スル事業ニ於ケル技術者及勞務者ニ關スル事項
- 十 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ鐵鋼ニ關スル事業ノ發達ニ關スル施設ニ關スル事項

- 十一 鐵鋼ニ關スル事業ニ關スル調査及研究ニ關スル事項
 - 十二 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ鐵鋼ニ關スル事業ニ關スル統制指導及検査ニ關スル事項
 - 十三 法令又ハ政府ノ命ジタル事項
 - 十四 前各號ニ掲ゲルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項
- 第七條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム
- 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ鐵鋼ニ關スル事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第四章 役員

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

第九條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ商工大臣ノ命ジタルモノトス
理事長及理事ハ鐵鋼ニ關スル事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ商工大臣ノ認可ヲ受

第十八條關係

ハ會長之ヲ命ズ

評議員ハ鐵鋼ニ關スル事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第十條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

トヲ得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ在任スベカリシ期間トス

第十一條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ事業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條 會長ハ本會ヲ代表シ鐵鋼ニ關スル事業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項ニ付會長ニ建議シ又ハ會長ノ諮問ニ應ズ

第五章 特別參與

第十三條 會長必要アリト認ムルトキハ本會ニ特別參與ヲ置クコトヲ得

特別參與ハ第五條ノ規定ニ依リ會員ト看做サレタル者ノ事業ニ對スル統制運営ヲ圖ル爲特ニ重要ナル事項ニ關シ本會ノ機務ニ參與ス

第六章 會議

第十四條 總會ハ定時總會及臨時總會トス定時總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認メタルトキ之ヲ開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集シ之ガ議長トナル

第十五條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

第十八條關係

一 定款ノ變更
 二 收支豫算
 三 定款第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法
 第十六條 會長ハ左ノ事項ヲ定時總會ニ報告スルモノトス但シ財産ノ狀況ハ監事ヲシテ之ヲ報告セシム

- 一 業務報告書
- 二 財産目錄
- 三 貸借對照表
- 四 收支計算書

第七章 事務局

第十七條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク
 第十八條 事務局ニ部ヲ置ク
 第十九條 事務局ニ事務局長一名ヲ、各部ニ部長各一名ヲ置ク
 事務局長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ事務局長ハ事務局ヲ統轄ス
 部長ハ理事ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ部長ハ事務局ノ事務ヲ分掌ス
 前三項ノ外事務局及其ノ職員ニ關スル事項ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第二十條 本會ノ日常業務ノ遂行ニ關シ會員ノ意見ヲ徵スル爲委員會ヲ設置ス
 委員會ハ事務局長之ヲ主宰ス
 委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第八章 會計

第二十一條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス
 第二十二條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得
 第二十三條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル
 第二十四條 本會ノ會計年度ハ第十四條ニ定ムル事業年度ニ依ル

第九章 解散及清算

第二十五條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ依リ解散ス
 第二十六條 清算人ハ商工大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル
 第二十七條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
 第二十八條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム
 第二十九條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十八條關係

第十章 過怠金

第三十條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十一條 本會ハ會員ニシテ統制規程ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十二條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十三條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十四條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十五條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十六條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十七條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十八條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十九條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第四十條 本會ハ會員ニシテ本定款ニ違反シタル者ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年一月十日鐵鋼統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シ

タリ (昭和十七年一月十三日 商工省告示第十八號)

鐵鋼統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ鐵鋼トハ銑鐵、普通鋼鋼塊、普通鋼半製品及普通鋼壓延鋼材(珪素鋼板及炭素含有量千分ノ六以上ノ線材ヲ含ム)ヲ謂フ
第二條 會員タル鐵鋼ノ製造業者(以下製鐵業者ト稱ス)ハ一定期間毎ノ鐵鋼原材料タル鐵鑛、石炭及石灰石ノ用途別、銘柄別及取得先別需要豫定數量ヲ記載シタル原料計畫書ヲ會長ニ提出スベシ
第三條 製鐵業者ハ普通鋼鋼塊ノ製造ニ付會長ノ指示スル配合割合ニ從ヒ銑鐵及鐵屑ヲ使用スベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第四條 會長必要アリト認ムルトキハ製鐵業者ニ對シ鐵鑛、マンガン鑛、石炭、鐵屑、銑鐵、普通鋼鋼塊、普通鋼半製品、製鋼原鐵其ノ他ノ鐵鋼原材料ノ使用又ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
第五條 製鐵業者ハ其ノ製造シタル銑鐵ヲ總テ鐵鋼原料統制株式會社ニ賣渡スベシ但シ會長ノ指示

第十八條關係

定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
會長製鐵業者ニ對シ前項ノ賣渡ニ付期限ヲ指示シタル場合ニ於テハ製鐵業者ハ其ノ期限内ニ前項ノ賣渡ヲ爲スベシ

第六條 會長必要アリト認ムルトキハ政府ノ承認ヲ受ケ鐵鋼原料統制株式會社ニ對シ鐵鑛、銑鐵、普通鋼半製品其ノ他ノ鐵鋼原材料ノ買受又ハ賣渡ニ關シ數量、價格、買受先又ハ賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ日本鐵屑統制株式會社ニ對シ製鐵業者ニ對スル鐵屑ノ賣渡ニ關シ數量、賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ帝國滿鐵株式會社ニ對シ製鐵業者ニ對スルマンガソ鑛ノ賣渡ニ關シ數量、賣渡先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第九條 會長鐵鋼原材料ノ需給ノ調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ鐵鋼原材料ノ保有、交換、貸與若ハ借受又ハ讓渡若ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十條 會長ハ製鐵業者ニ對シ其ノ鐵鋼ノ種類別生産割當數量ヲ指示ス
前項ノ指示ヲ受ケタル製鐵業者ハ之ニ從ヒ鐵鋼ノ製造ヲ爲スベシ但シ設備ノ故障其ノ他特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
前項但書ノ場合ニ於テハ製鐵業者ハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ製造見込數量ヲ會長ニ届出ヅベシ

(追十) 四一四

(追十) 四一五

第十一條 會長製鐵事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ政府ノ承認ヲ受ケ製鐵業者ニ對シ製鐵設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長鐵鋼ニ關スル事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ政府ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會長必要アリト認ムルトキハ製鐵業者ニ對シ製鐵技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十三條 製鐵業者ハ一定期間毎ノ製鐵設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ
第十四條 製鐵業者ハ一定期間毎ノ技術者及勞務者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十五條 會長鐵鋼ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ製鐵業者ニ對シ技術者又ハ勞務者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十六條 製鐵業者ハ其ノ製造シタル鐵鋼(銑鐵ヲ除ク)ヲ鐵鋼販賣統制株式會社以外ノ者ニ賣渡スコトヲ得ズ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第十七條 會長必要アリト認ムルトキハ鐵鋼販賣統制株式會社ニ對シ鐵鋼(銑鐵ヲ除ク)ノ買受又

ハ賣渡ニ關シ價格、受渡條件其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條 鐵鋼原料統制株式會社及鐵鋼販賣統制株式會社鐵鋼ノ買受又ハ賣渡ニ付製鐵業者又ハ指定販賣業者ト基本協定ヲ締結セントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十九條 會長鐵鋼ノ需給ノ調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ種類及數量ヲ指示シテ鐵鋼ノ保有ヲ命ズルコトアルベシ

第二十條 會長鐵鋼ノ販賣事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ鐵鋼原料統制株式會社又ハ鐵鋼販賣統制株式會社ニ對シ鐵鋼ノ販賣ニ關シ販賣方法又ハ販賣機構ノ改善其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十一條 鐵鋼原料統制株式會社又ハ鐵鋼販賣統制株式會社販賣業者ノ指定若ハ其ノ取消又ハ鐵鋼ノ販賣方法若ハ販賣機構ノ變更ヲ爲サントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ

第二十二條 會員ハ一定期間毎ノ鐵鋼及其ノ原材料ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

鐵鋼原料統制株式會社、日本鐵屑統制株式會社及鐵鋼販賣統制株式會社ハ其ノ指定販賣業者ノ取扱ニ係ル鐵鋼又ハ鐵屑ノ一定期間毎ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル指定販賣業者別輸送計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十三條 會員鐵鋼又ハ其ノ原材料ノ輸送ニ付運輸業者ト運輸年度契約ヲ爲サントスルトキハ豫メ會長ニ届出ツベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十四條 會長鐵鋼又ハ其ノ原材料ノ輸送ノ改善ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ政府ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ荷役設備ノ新設、増設又ハ改造ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十五條 會員ハ其ノ鐵鋼ニ關スル事業ノ一定期間毎ノ所要資金ノ調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十六條 製鐵業者ハ其ノ製造スル鐵鋼ノ一定期間毎ノ原價計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ一定期間毎ノ豫定損益計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ
第二十八條 會長鐵鋼ニ關スル事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十九條 會員ハ每事業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該事業年度ノ收支決算ニ關スル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十條 會長鐵鋼ニ關スル事業ノ統制運營上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第三十一條 製鐵業者ハ一定期間毎ノ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

一 鐵鑛、石炭、鐵屑其ノ他ノ鐵鋼原材料ノ受拂ニ關スル事項

二 製鐵用資材ノ受拂ニ關スル事項

三 電力ノ使用ニ關スル事項

四 勞務者ノ移動ニ關スル事項

五 鐵鋼ノ生産、賣買及受拂ニ關スル事項

六 液體燃料、精製ガス其ノ他ノ副生物ノ受拂ニ關スル事項

第三十二條 鐵鋼原料統制株式會社ハ一定期間毎ノ鐵鑛、鐵屑及鐵鋼ノ賣買及受拂ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十三條 日本鐵屑統制株式會社ハ一定期間毎ノ鐵屑ノ賣買及受拂ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十四條 帝國滿鐵株式會社ハ一定期間毎ノマンガン鑛ノ賣買及受拂ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十五條 鐵鋼販賣統制株式會社ハ一定期間毎ノ鐵鋼(銑鐵ヲ除ク)ノ賣買及受拂ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十六條 會長鐵鋼ニ關スル事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員又ハ會員タル團體

ヲ組織スル者ニ對シ其ノ鐵鋼ニ關スル事業ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

前項ノ規定ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ハ遲滞ク眞實ナル報告ヲ爲スベシ

第三十七條 第二條、第十三條、第十四條、第二十二條、第二十五條乃至第二十七條及第三十一條乃至第三十五條ノ期間、書類ノ様式及書類ノ提出期限竝ニ第二十九條ノ書類ノ様式ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十八條 會員ハ第四條、第六條乃至第九條、第十一條、第十二條、第十五條、第十七條、第十九條、第二十條、第二十四條又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタルトキハ之ニ從フベシ

第三十九條 會員ハ第二條、第十三條、第十四條、第二十二條、第二十五條乃至第二十七條、第二十九條又ハ第三十一條乃至第三十五條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

石炭鑛業及石炭販賣業ノ統制會ハ昭和十六年十一月二十六日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十六年十一月二十七日
商工省告示第千百三十二號)

石炭統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル石炭産業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且石炭産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ石炭統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置キ必要ニ應ジ支部又ハ出張所ヲ設ク

第四條 本會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一 石炭鑛業ヲ營ム鑛業權者ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノ

二 重要産業團體令ニ依リ設立セラレタル石炭統制組合

三 日本石炭株式會社

四 其ノ他商工大臣ノ指定シタル者

第五條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

本會ハ本會ノ事業ヲ行フ爲テ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對

(追十二) 三三四

(追十) 四二一

シ前項ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課ス

第六條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 事 業

第七條 本會ハ本會ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事項ニ付必要ナル事業ヲ行フ

一 石炭ノ生産及配給竝ニ石炭産業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他石炭産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二 石炭ノ生産計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項

三 石炭ニ關スル資材、資金及勞務ノ確保及配分ニ關スル事項

四 石炭ノ配給基本計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項

五 石炭ノ價格ニ關スル事項

六 石炭ニ關スル輸送力ノ確保及荷役ノ改善ニ關スル事項

七 石炭産業ノ整備確立ニ關スル事項

八 石炭産業ニ於ケル技術ノ向上、能率ノ増進、經理ノ改善其ノ他事業經營ノ合理化ニ關スル事項

九 會員及會員タル石炭統制組合ノ組合員ノ事業ニ關スル指導及検査ニ關スル事項

十 石炭ニ關スル調査及研究竝ニ報道及宣傳ニ關スル事項

第十八條關係

三〇ノ一七

十一 其ノ他本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

第八條 本會ハ事業ノ執行ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ統制規程ヲ定ム

第三章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

理事長 一人

理事 五人以上

監事 二人以上

評議員 若干人

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理シ石炭産業ノ統制指導ニ任ズ

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

(追十) 四二二

(追十) 四二三

第十一條 會長ハ商工大臣ノ命ジタル詮衝委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ズ

理事長及理事ハ石炭産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ジ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

評議員ハ石炭産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ

監事ハ評議員其ノ過半數ノ同意ニ依リ之ヲ選任ス

第十二條 會長、理事長及理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員ノ任期ハ二年トス
會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十三條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限りニ在ラズ

第四章 總會

第十四條 總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス

定時總會ハ毎年一回三月ニ、臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス
總會ハ會長之ヲ招集ス

第十五條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ理事長之ニ當リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長ノ職務ヲ代理スル理事之ニ當ル

第十八條關係

三〇ノ一九

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第五條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第五章 事務局

第十八條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第十九條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ統理ス

第二十條 前二條ノ外職員其ノ他事務局ニ關スル事項ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計

第二十一條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十二條 前條ノ外會計ニ關スル事項ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第七章 違約處分

第二十三條 本會ハ統制規程ノ定ムル所ニ依リ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課ス

(追十) 四二四

(追十) 四二五

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年二月二十日石炭統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可

(昭和十七年二月二十一日 商工省告示第百八十八號)

シタリ

石炭統制會統制規程

第一條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第二條 會員ハ前條第一項ノ規定ニ依リ會長ノ承認ヲ受ケタル事業計畫ヲ實施スベシ

第三條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ其ノ組合員ノ事業)ニ要スル物資ノ數量及金額ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ其ノ組合員ノ事業)ニ要スル物資ノ使用又ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第五條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ其ノ組合員ノ事業)

第十八條關係

ニ要スル技術者、勞務者及資金ノ取得計畫ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第六條 會長ハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ日本石炭株式會社ニ對シ石炭ノ配給計畫ノ設定及遂行ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第七條 會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員(以下組合員ト稱ス)ハ會長ノ定ムル所ニ依リ石炭ノ豫定原價計算及原價計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第八條 會員又ハ組合員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ財産、收支豫算、收支決算及利益金ノ處分方法ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第九條 會員又ハ組合員其ノ事業ニ著手シ又ハ其ノ事業ヲ休止若ハ廢止セントスルトキハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十條 會長石炭産業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員又ハ組合員ニ對シ事業ノ著手、繼續、休止又ハ廢止ヲ命ズルコトアルベシ

第十一條 會長石炭産業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員又ハ組合員ニ對シ事業設備ノ新設擴張若ハ改良ヲ命ジ又ハ作業方法若ハ作業用品ノ改良ニ關シ必要ナル事項ヲ指定スル指トアルベシ

第十二條 會員又ハ組合員石炭ヲ目的トスル鑛業權ノ讓渡若ハ讓受又ハ隣接石炭鑛區トノ間ノ石炭鑛區ノ増減ノ契約ヲ爲サントスルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ但シ第十三條ノ規定ニ依ル指

(連十) 四二六

(連十) 四二七

示ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 會長石炭産業ノ整備確立ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員又ハ組合員ニ對シ鑛業權ノ讓渡若ハ讓受隣接石炭鑛區トノ間ノ石炭鑛區ノ増減又ハ事業設備、作業用品等ノ讓渡、讓受、賃貸若ハ賃借ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十四條 災害其ノ他緊急ノ事態發生シタル場合又ハ災害ヲ豫防スル爲必要アル場合ニ於テハ會長ハ會員又ハ組合員ニ對シ他ノ會員又ハ組合員ニ必要ナル協力ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十五條 會長石炭産業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ其ノ事業ノ經營ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトアルベシ

第十六條 會長石炭産業ノ統制運営上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員又ハ組合員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第十七條 會員ハ第一條第二項、第四條、第六條、第十條、第十一條又ハ第十三條乃至第十五條ノ規定ニ依ル會長ノ命令又ハ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ從フベシ

第十八條 會員ハ第三條、第五條又ハ第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

第十九條 本會ハ本規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトアルベシ

第十八條關係

三〇ノ二三

第二十條 本規程ニ依リ組合員ヨリ會長ニ提出スベキ書類ハ會長ノ定ムルモノヲ除クノ外當該統制組合ノ理事長ヲ經由スベシ

鑛產物(石炭、亞炭、石油及土瀝青ヲ除ク)ノ生産及販賣ニ關スル事業(鐵鑛、ニツケル鑛、アルミニウム及マグネシウムノ製鍊及販賣ニ關スル事業並ニ燐鑛ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク)ノ統制會ハ昭和十六年十二月十八日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十六年十二月十九日
商工省告示第千二百八十六號)

鑛山統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル鑛產物(石炭、亞炭、石油及土瀝青ヲ除ク以下同ジ)ノ生産及販賣ニ關スル事業(鐵鑛、ニツケル鑛、アルミニウム及マグネシウムノ製鍊及販賣ニ關スル事業並ニ燐鑛ノ販賣ニ關スル事業ヲ除ク)ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ鑛山統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置キ必要ニ應ジ支部又ハ出張所ヲ設ク

第四條 本會ハ第一條ノ事業ヲ營ム者及其ノ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノヲ以テ組織ス

第十八條關係

第五條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

本會ハ本會ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前項ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課ス

第六條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 事業

第七條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事項ニ付必要ナル事業ヲ行フ

- 一 鑛産資源開發計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 二 鑛産物ノ生産及配給計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 三 第一條ノ事業ニ要スル資材ノ確保及配分計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 四 第一條ノ事業ニ要スル勞務及資金ノ確保ニ關スル事項
- 五 鑛産物ニ關スル輸送力ノ確保及荷役ノ合理化ニ關スル事項
- 六 鑛産物ノ價格ニ關スル事項
- 七 第一條ノ事業ノ整備確立ニ關スル事項
- 八 第一條ノ事業ニ於ケル技術ノ向上、能率ノ増進及經理ノ改善ニ關スル事項
- 九 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ第一條ノ事業ニ關スル統制指導及検査ニ關スル事項
- 十 鑛産物ニ關スル調査及研究ニ關スル事項

(追十) 四三〇

(追十) 四三一

十一 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

第八條 本會ハ事業ノ執行ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ統制規程ヲ定ム

第三章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ケ

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ第一條ノ事業ノ統制指導其他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ補佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十八條關係

第十一條 會長ハ商工大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ズ
理事長及理事ハ第一條ノ事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ジタル商工大臣ノ
認可ヲ受クルモノトス

評議員ハ第一條ノ事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ
監事ハ評議員其ノ過半數ノ同意ニ依リ之ヲ選任ス

第十二條 役員ノ任期ハ左ノ通りトス

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ任期中ト雖モ理事長又ハ理事ヲ解任スルヲ
トヲ得

第十三條 會長、理事長及理事ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外他ノ職務又ハ商業ニ
從事スルコトヲ得ズ

第四章 總會

(追十) 四三二

第十四條 總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス定時總會ハ毎年一回三月ニ、臨時總會ハ會長必
要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス
總會ハ會長之ヲ招集ス

(追十) 四三三

第十五條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ理事長之ニ當リ會長及理事長共ニ事故
アルトキハ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長ノ職務ヲ代理スル理事之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第五條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第五章 事務局

第十八條 本會ニ事務局ヲ置ク

第十九條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ受ケ事務局ヲ統理ス

第二十條 前二條ノ外職員其ノ他ノ事務局ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム

第六章 會計

第二十一條 本會ノ會計年度ハ毎月四月一日ニ始リ翌年三月末日ニ終ル

第十八條關係

三〇ノ二九

第二十二條 前項ノ外會計ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム

第七章 過怠金

第二十三條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ統制規程ノ定ムル所ニ依リ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課ス

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月十二日鑛山統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可

シタリ

(昭和十七年五月十五日)
商工省告示第五百五十九號

鑛山統制會統制規程

第一條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業計畫(統制組合タル會員ニ在リテハ組合員ノ事業計畫)ヲ定メ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第二條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ組合員ノ事業)ニ要スル物資ノ數量及金額其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ組合員ノ事業)ニ要スル物資ノ使用、取得又ハ保有ニ關シ數量、用途其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條關係

第四條 會員又ハ會員タル統制組合ノ組合員(以下組合員ト稱ス)ハ會長ノ定ムル所ニ依リ鑛產物ノ送付計畫及受入計畫ヲ定メ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ商工大臣ノ承認ヲ受ケ鑛產物ノ送付數量受入數量、送付先、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第五條 會員又ハ組合員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ鑛產物ノ輸送計畫ヲ定メ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ鑛產物ノ輸送ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業(統制組合タル會員ニ在リテハ組合員ノ事業)ニ要スル技術者及勞務者其ノ他ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ技術者及勞務者其ノ他ノ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ其ノ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第九條 會員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ所要資金ノ調達方法ヲ記載シタル資金計畫書(統制組合タル會員ニ在リテハ組合員ノ資金計畫書)ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

ル會員ニ在リテハ組合員ノ資金計畫書)ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十條 會員又ハ組合員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ豫定原價計算及原價計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十一條 會員又ハ組合員ハ會長ノ定ムル所ニ依リ當該事業年度ノ財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類ヲ會長ニ提定スベシ

第十二條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十三條 會長ハ會員又ハ組合員ニ對シ商工大臣ノ承認ヲ受ケ鑛產物ノ買受、賣渡、保有又ハ委託加工若ハ受託加工ニ付其ノ數量、價格、受渡先其ノ他ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ其ノ事業設備ノ新設、増設、變更、休止、廢止又ハ讓渡若ハ讓受ニ關シ商工大臣ノ承認ヲ受ケ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十五條 會員又ハ組合員ハ其ノ事業ノ開始、休止、廢止、讓渡、委託、共同經營又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ其ノ事業ノ開始、休止、廢止、讓渡

渡若ハ讓受、委託若ハ受託、共同經營又ハ合併ニ關シ商工大臣ノ承認ヲ受ケ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十七條 會員又ハ組合員ハ其ノ鑛業權若ハ砂鑛權ノ讓渡若ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ増減ノ契約ヲ爲サントスルトキハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ會員又ハ組合員ニ對シ鑛業權若ハ砂鑛權ノ讓渡若ハ讓受又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ増減ニ關シ商工大臣ノ承認ヲ受ケ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十九條 會長必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員又ハ組合員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十條 會員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

一 商號、名稱又ハ主タル事務所若ハ營業所ノ變更アリタルトキ

二 定款ノ變更アリタルトキ

三 役員ノ變更アリタルトキ

第二十一條 會員又ハ組合員ハ第一條第二項、第三條、第四條第二項、第五條第二項、第七條、

第八條、第十二條乃至第十四條、第十六條及第十八條ノ規定ニ依ル會長ノ命令又ハ指示ヲ受ケ

(追十二) 七五六

(追十一) 七五七

タルトキハ之ニ從フベシ

第二十二條 會員又ハ組合員ハ第一條第一項、第二條、第四條第一項、第五條第一項、第六條、

第九條乃至第十一條、第十五條、第十七條及第二十條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十三條 本會ハ本規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトアルベシ

第二十四條 本規程ニ依リ組合員ヨリ會長ニ提出スベキ書類ハ會長ノ定ムルモノヲ除クノ外當該統制組合ノ理事長ヲ經由スベシ

セメントノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十六年十二月十八日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十六年十一月二十日
商工省告示第千二百九十五號)

セメント統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハセメント業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且セメント業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シセメント統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ東京市ニ之ヲ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第二章 會 員

第四條 本會ハセメントノ製造業者及販賣業者ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第三章 事業

第五條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

第十八條關係

- 一 セメントノ生産及配給竝ニセメント業ニ要スル原料、資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他セメント業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
 - 二 セメントノ原料計畫及資材計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
 - 三 セメントノ生産計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
 - 四 セメント配給計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
 - 五 セメントノ價格ニ關スル事項
 - 六 セメントノ需給調整及價格調整ノ爲ノ施設ニ關スル事項
 - 七 セメント業ノ整備確立ニ關スル事項
 - 八 セメント業ニ要スル原料、資材及資金ノ確保調達ニ關スル事項
 - 九 セメント業ニ於ケル技術者及勞務者ニ關スル事項
 - 十 セメント業ニ關スル技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改繕其ノ他事業經營ノ合理化ニ關スル事項
 - 十一 セメント業ニ關スル調査及研究ニ關スル事項
 - 十二 會員ノセメント業ニ關スル統制指導及檢査ニ關スル事項
 - 十三 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項
- 第六條 本會ハ事業ノ執行ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ統制規程ヲ定ム

(道十)

第四章 役員

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

第八條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ商工大臣ノ任命シタルモノトス

理事長及理事ハセメント業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズ

評議員ハセメント業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ監事ハ評議員之ヲ選任ス

監事ノ選任ハ評議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

第九條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會長 三年
- 理事長 三年

第十八條關係

(道十)

理事 三年
監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ在任者ノ在任スベカリシ期間トス

第十條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條 會長ハ本會ヲ代表シセメント業ニ關スル統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第五章 會議

(連十)

(連十)

第十二條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年一回三月ニ、臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス

總會ハ會長之ヲ招集シ之ガ議長トナル

第十三條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 定款第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十四條 會長ハ通常總會ニ左ノ書類ヲ提出シテ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

一 業務報告書

二 財産目錄

三 貸借對照表

四 收支計算書

第六章 事務局

第十五條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第十六條 事務局ニ部ヲ置ク

第十七條 事務局ニ事務局長一名ヲ、各部ニ部長各一名ヲ置ク

第十八條關係

事務局長ハ理事長ヲ以テ之ニ充ツ事務局長ハ事務局ヲ統轄ス
 部長ハ理事ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ
 部長ハ事務局ノ事務ヲ分掌ス
 前四項ニ規定スルモノノ外事務局及其ノ職員ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム
 第十八條 本會ノ業務ノ遂行ニ關シ會長必要アリト認ムルトキハ委員會ヲ設置ス
 委員會ハ事務局長之ヲ主宰ス
 委員會ニ關スル規程ハ會長之ヲ定ム

第七章 會計

第十九條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス
 第二十條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得
 第二十一條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法ハ會長之ヲ定ム
 第二十二條 本會ノ會計年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月末日ニ終ル
 第八章 過怠金
 第二十三條 本會ハ會員ニシテ統制規程ニ違反シタル者ニ對シ統制規程ノ定ムル所ニ依リ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課ス

(追十) 四四〇

(追十一) 七五九

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年六月十二日セメント統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シタリ

(昭和十七年六月十五日)
 (商工省告示第六百九十四號)

セメント統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テセメントトハ左ニ掲グルモノヲ謂フ
 一 ポルトランドセメントクリンカ(白色セメントクリンカヲ除ク以下同ジ)
 二 ポルトランドセメント(白色セメントヲ除ク以下同ジ)
 三 混合セメント(高爐セメントヲ含ム以下同ジ)
 第二條 會員タルセメントノ製造業者(以下製造業者ト稱ス)ハ一定期間毎ノセメント製造用ノ資材ノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ
 會長ハ前項ノ資材計畫書ヲ審査シ製造業者ニ對シセメント製造用ノ資材ノ使用又ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ
 第三條 會長セメント製造用ノ資材ノ需給ノ調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シセメント製造用ノ資材ノ保有、交換、貸與若ハ借受又ハ讓渡若ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條關係

三〇ノ三六ノ一

第四條 會長ハ製造業者ニ對シ其ノセメントノ月別工場別種類別生産割當數量ヲ指示ス
前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ之ニ從ヒセメントノ製造ヲ爲スベシ但シ設備ノ故障其ノ他特
別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ製造業者ハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ製造見込數量ヲ會長ニ届出ヅベシ
第五條 會長ハ製造業者ノ製造シタルセメントノ品質試験ヲ爲スコトアルベシ

前項ノ品質試験ノ結果ニ依リ會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ當該セメントノ製造
ノ制限ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ混合セメントノ製造ニ使用スルポルトラン
ドセメントクリンカ及混合材ノ配合割合ヲ指示スルコトアルベシ

前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ之ニ從ヒポルトランドセメントクリンカ及混合材ヲ使用スベ
シ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 會長セメント製造事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ
製造業者ニ對シセメント製造設備ノ新設、増設、變更、移轉、廢止、休止、轉用、貸與若ハ借
受又ハ讓渡若ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長セメント事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ
セメント事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ

指示スルコトアルベシ

第八條 會長必要アリト認ムルトキハセメント共販株式會社(以下共販會社ト稱ス)ニ對シセメン
トノ買受又ハ賣渡ニ關シ數量、條件其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第九條 共販會社セメントノ讓受ニ付製造業者ト基本協定ヲ締結セントスルトキハ豫メ會長ノ承
認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十條 會長セメント販賣事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ共販會社ニ對シセメン
トノ販賣ニ關シ販賣方法又ハ販賣機構ノ改善其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十一條 會長セメントノ需給ノ調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ共販會社ニ對シセメ
ントノ保有ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會長セメント又ハセメント製造用ノ資材ノ輸送ノ改善ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ム
ルトキハ會員ニ對シ荷役設備ノ新設、増設又ハ改造ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベ
シ

第十三條 共販會社ハ一定期間毎ノセメントノ輸送機關別積出豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書
ヲ會長ニ提出スベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シセメント製造技術ノ研究、改善、公開又
ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條關係

第十五條 製造業者ハ一定期間毎ノ技術者及勞務者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十六條 會長セメントノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ技術者又ハ勞務者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十七條 會員ハ其ノセメント事業ノ一定期間毎ノ所要資金ノ調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十八條 製造業者ハ其ノ製造スルセメントノ一定期間毎ノ原價計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十九條 會員ハ一定期間毎ノ豫定損益計算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十條 會長セメント事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノセメント事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十一條 會員ハ每營業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸與對照表、營業報告書、損益計算書及利益金ノ處分ニ關スル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十二條 會長セメント事業ノ統制運營上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十三條 製造業者ハ一定期間毎ノ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

一 セメント製造用ノ資材ノ受拂ニ關スル事項

二 電力ノ使用ニ關スル事項

三 勞務者ノ移動ニ關スル事項

四 主要機械ノ運轉ニ關スル事項

五 セメントノ生産、賣買及受拂ニ關スル事項

第二十四條 共販會社ハ一定期間毎ノセメントノ賣買及受拂ノ狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十五條 第二條、第十三條、第十五條、第十七條乃至第十九條、第二十三條及前條ノ期間並ニ書類ノ様式及提出期限ハ會長別ニ之ヲ定ム

第二十六條 第二條第二項、第三條、第五條第二項、第七條、第八條、第十條乃至第十二條、第十四條、第十六條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル會長ノ指示ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第二十七條 會員ハ第二條第一項、第十三條、第十五條、第十七條乃至第十九條、第二十一條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

第二十八條 本會ハ本規程ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトアルベシ

車輛及鐵道信號保安裝置ノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統
制會ハ昭和十六年十二月二十二日成立シタリ其ノ定款左
ノ如シ(昭和十六年十二月二十三日
商工省告示第千三百十五號)

車輛統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル車輛及鐵道信號保安裝置ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ當該
產業ト稱ス)ノ確立ヲ期シ以テ高度國防國家體制ヲ完備スル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當
該產業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要產業團體令ニ依リ之ヲ設立シ車輛統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ東京市ニ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會 員

第五條 本會ハ當該產業ヲ營ム者及當該產業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定
シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第十八條關係

第三章 事業及其ノ執行

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 當該産業ニ於ケル生産及配給竝ニ當該産業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
 - 二 當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導
 - 三 當該産業ニ要スル資材、資金、勞務、燃料及動力等ノ需給ニ關スル統制指導
 - 四 當該産業ニ於ケル生産品ノ價格ニ關スル事項
 - 五 當該産業ノ整備確立
 - 六 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ關スル事業ノ發達ニ關スル施設
 - 七 當該産業ニ關スル調査及研究
 - 八 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査
 - 九 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第七條 會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第八條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

(追十) 四四二

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
 - 理事長 一人
 - 理事 若干人
 - 監事 三人
 - 評議員 若干人
- 會長必要アリト認ムルトキハ副會長一人ヲ置クコトヲ得
- 第十條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ商工大臣ノ命ジタルモノトス
- 副會長、理事長、理事及評議員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ但シ副會長、理事長及理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス
- 監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス
- 第十一條 役員ノ任期ハ左ノ通トス
- 會長 三年
 - 副會長 三年
 - 理事長 三年

(追十) 四四三

第十八條關係

理事 三年
 監事 二年
 評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任スルコト得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ在任スベカリシ期間トス

第十二條 會長、副會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ事業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 會長ハ本會ヲ代表シ當該產業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
 理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

(追十) 四四四

(追十一) 四四五

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第五章 會議

第十四條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

總會ハ會員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 總會ハ通常及臨時ノ二種トシ通常總會ハ每事業年度終了後二箇月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

- 一 定款ノ變更
- 二 收支豫算

三 第二十二條又ハ第二十三條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條關係

第十八條 評議員會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス
評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク
第二十條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ統理ス
第二十一條 前二條ノ外事務局事務分掌及職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計

第二十二條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス
第二十三條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得
第二十四條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル
第二十五條 本會ノ會計年度ハ第十五條第二項ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第二十六條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ因リテ解散ス
第二十七條 清算人ハ商工大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル
第二十八條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

(追十) 三四六

(追十二) 三十五

第二十九條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十一條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得
第三十二條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月六日車輛統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シタリ
(昭和十七年五月十三日)
(商工省告示第五百五十五號)

改正 昭和十七年八月七日第八四七號

車輛統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ車輛等トハ車輛及鐵道信號保安裝置並ニ其ノ部分品ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 會員ハ一定期間毎ノ車輛等ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ事業ト稱ス)ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ事業計畫ヲ實施スベシ

第三條 會員ハ一定期間毎ノ其ノ事業ニ要スル資材(燃料及動力並ニ部分品及附屬品ヲ含ム以下單ニ資材ト稱ス)ニシテ會長ノ指定スルモノノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

(追十二) 三一六

(追十二) 三一七

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ資材ノ使用狀況若ハ取得狀況ニ付必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ資材ノ使用若ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ會員ニ對シ其ノ供給ヲ受クル部分品ノ種類、數量若ハ供給者ニ付必要ナル事項ヲ指示シ又ハ車輛等ノ製造ニ會長ノ指定スル資材ヲ使用スベキコトヲ命ジ若ハ其ノ使用ヲ制限セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第五條 會長資材ノ需給調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材ノ保有、交換、貸與又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ生産分野ノ劃定、生産ノ割當、規格ノ統一其ノ他車輛等ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ生産分野ノ劃定又ハ規格ノ統一ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ第一項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第七條 會員ノ車輛等ノ受註ヲ爲ス場合ニ於テハ受註査定票ヲ會長ニ提出スベシ但シ陸軍又ハ海軍ヨリ當該車輛等製造用ノ資材ノ配給ヲ受クル場合及會長ノ指定シタル車輛等ニ付テハ此ノ限

第十八條關係

三〇ノ四三ノ二

ニ在ラズ

會長前項ノ受註査定票ヲ受理シタルトキハ其ノ定ムル受註査定細則ニ依リ受註ノ可否ヲ査定シ當該會員ニ之ヲ通知ス

會員ハ第二項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ受註ニ係ル車輛等ノ製造ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一項但書ノ場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前條第二項ノ規定ニ依ル受註ノ承認ヲ爲シタル車輛等ノ規格、數量又ハ完成時期ニ付必要ナル指示ヲ爲スコトアルベシ

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第九條 會員陸軍又ハ海軍ヨリ資材ノ配給ヲ受クベキ車輛等ヲ受註セントスルトキハ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ツベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ事前ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ツベシ

第十條 會員ハ會長ノ指定シタル車輛等ノ一定期間毎ノ生産工程計畫ヲ記載シタル生産工程表ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ生産工程計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ
會員ハ第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スベシ

(追十二)

三一八

(追十二)

三一九

第十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ其ノ製造中ノ車輛ノ製造工程ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ其ノ製造中ノ車輛等ノ製造工程ノ變更ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會員ハ一定期間毎ノ車輛等ノ製造完了狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十三條 會員ハ一定期間毎ノ會長ノ指定シタル車輛等ノ納入狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ書類ノ外受領書ノ寫其ノ他ノ證憑書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ車輛等ノ販賣ニ關シ條件、時期、販賣先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十五條 會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、貸與、借受、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一定期間毎ノ事業設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 會員ハ一定期間毎ノ車輛等ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書及一定期間毎ノ車輛等ノ輸送數量ヲ記載シタル輸送実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ車輛等ノ製造技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十九條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ車輛等ノ製造ニ必要ナル見本機械又ハ圖面ノ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十條 會員ハ一定期間毎ノ所要資金ノ額及調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十一條 會員ハ一定期間毎ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書及一定期間毎ノ從業者ノ雇傭人員ヲ記載シタル勞務実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十二條 會長車輛等ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ車輛等ノ豫定原價計算又ハ原價計算ヲ記載

(連十二) 三三〇

(連十二) 三三一

シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二十四條 會長特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十五條 會長事業ノ統制運営上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲テ必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十六條 會員ハ一定期間毎ノ事業狀況ヲ記載シタル事業報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ一定時期ニ於ケル資材ノ保有狀況ヲ記載シタル資材保有報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十八條 會員ハ法人ニ在リテハ每營業年度經過後遲滞ナク財産目録、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該營業年度ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ、個人ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ事業ニ關スル前年ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ツベシ

- 一 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキ
- 二 車輛等ノ生産ノ遂行ニ關シ重大ナル事故發生シタルトキ
- 三 第二條第一項ノ事業計畫又ハ第十條第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スルコト能ハザルニ至リ

第十八條關係

三〇ノ四三ノ六

タルトキ

第三十條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ツベシ

一 商號若ハ氏名名稱又ハ主タル營業所ノ位置ヲ變更シタルトキ

二 定款ヲ作成シ又ハ變更シタルトキ

三 株金若ハ出資金ノ拂込ヲ徴收シ又ハ社債ヲ發行シタルトキ

四 取締役又ハ監査役ノ選任又ハ退任アリタルトキ

第三十一條 會長事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第三十二條 第二條第一項、第三條、第七條第一項、第九條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條及第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ様式、第二條第一項、第三條、第九條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十六條及第二十七條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ提出期限、第二條第一項、第三條、第九條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條ノ期間

並ニ第二十七條ノ時期ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十三條 第二條第二項、第四條、第五條、第六條第一項、第八條第一項、第十條第二項、第

(通十二) 三三三

(通十二) 三三三

十一條、第十三條第二項、第十四條乃至第十六條、第十八條、第十九條又ハ第二十二條乃至第三十條ノ規定ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第三十四條 第四條、第十一條又ハ第三十一條ノ規定ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員ハ遲滞ナク眞實ノ報告ヲ爲スベシ

第三十五條 會員ハ第二條第一項、第三條、第七條第一項、第九條、第十條第一項、第十二條

第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條又ハ第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

自動車ノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十六年十二月二十四日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十六年十二月二十六日 商工省告示第千三百四十八號)

自動車統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル自動車ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ當該産業ト稱ス)ノ確立ヲ期シ以テ高度國防國家體制ヲ完備スル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ之ヲ設立シ自動車統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ東京市ニ之ヲ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會 員

第五條 本會ハ當該産業ヲ營ム者及當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

(追十二)

三二四

(追十)

四四九

第三章 事 業

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 當該産業ニ於ケル生産、配給及價格竝ニ當該産業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二 當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導

三 當該産業ニ要スル資材、資金、勞務及動力等ノ需給ニ關スル統制指導

四 當該産業ニ於ケル生産品ノ價格ニ關スル調査

五 當該産業ノ整備確立

六 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

七 當該産業ニ關スル調査及研究

八 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査

九 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事業

第七條 本會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第八條 本會ノ事業ノ執行ニシ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十八條關係

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

理事長 一人

理事 英千人

監事 若干人

評議員 若干人

第十條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ商工大臣ノ命ジタル者トス

理事長、理事及評議員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ但シ理

事長及理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十一條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

(追十) 四五〇

(追十) 四五一

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

補缺ノ爲役員ニ任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

第十二條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ

受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 會長ハ本會ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第五章 會議

第十四條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

第十五條 總會ハ通常及臨時ノ二種トシ通常總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時

第十八條關係

總會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會長ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招

集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十二條及第二十三條ノ規定ニヨル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條 評議員會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第二十條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ總理ス

(追十) 四五二

(追十二) 三二五

第二十一條 前二條ノ外事務局事務分掌及職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計

第二十二條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

第二十三條 本會其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一

部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十五條 本會ノ會計年度ハ第十五條第二項ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第二十六條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ依リテ解散ス

第二十七條 清算人ハ商工大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十八條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十九條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十條 本會ハ解散後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十一條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十二條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十八條關係

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年六月二十七日自動車統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シタリ
(昭和十七年七月二日
商工省告示第七百四十一號)

自動車統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ自動車トハ自動車及同部分品(以下單ニ自動車ト稱ス)ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 會員ハ一定期間毎ノ自動車ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ事業ト稱ス)ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ
會長第一項ノ規定ニ依ル承認若ハ不承認ノ處分ヲ爲シ又ハ前項ノ規定ニ依リ命令ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

會員ハ第一項ノ事業計畫ヲ實施スベシ

第三條 會員ハ一定期間毎ノ其ノ事業ニ要スル資材(燃料及動力並ニ部分品及附屬品ヲ含ム以下單ニ資材ト稱ス)ニシテ會長ノ指定スルモノノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ
(追十二) 三二六

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ資材ノ使用狀況若ハ取得狀況ニ付必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ資材ノ使用若ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第五條 會長資材ノ需給調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材ノ保有、交換、貸與又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ生産分野ノ劃定、生産ノ割當、規格ノ統一其ノ他自動車ノ製造ニ關シ種類、數量其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第七條 會員陸軍又ハ海軍ヨリ資材ノ配給ヲ受クベキ自動車ヲ受註セントスルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ事前ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ

第八條 會員ハ會長ノ指定シタル自動車ノ一定期間毎ノ生産工程計畫ヲ記載シタル生産工程表ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ生産工程計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ
會員ハ第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スベシ

第九條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ其ノ製造中ノ自動車ノ製造工程ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ其ノ製造中ノ自動車ノ製造工程ノ變更ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十條 會員ハ一定期間毎ノ自動車ノ製造完了狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ
第十一條 會員ハ一定期間毎ノ會長ノ指定シタル自動車ノ納入狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ書類ノ外受領書ノ寫其ノ他ノ證憑書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十二條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ自動車ノ販賣ニ關シ條件、時期、販賣先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十三條 會長事業ノ統制運送上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、貸與、借受、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長事業ノ統制運送上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一定期間毎ノ事業設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十五條 會員ハ一定期間毎ノ自動車ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書及一定期間毎ノ自動車ノ輸送數量ヲ記載シタル輸送実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ自動車ノ製造技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十七條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ自動車ノ製造ニ必要ナル見本機械又ハ圖面ノ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十八條 會員ハ一定期間毎ノ所要資金ノ額及調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十九條 會員ハ一定期間毎ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書及一定期間毎ノ從業者ノ雇傭人員ヲ記載シタル勞務実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十條 會長自動車ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ自動車ノ豫定原價計算又ハ原價計算ヲ記載

シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二十二條 會長特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長事業ノ統制運営上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十四條 會員ハ一定期間毎ニ事業狀況ヲ記載シタル事業報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十五條 會員ハ一定期間毎ノ燃料及動力ノ使用數量ヲ記載シタル燃料動力使用実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十六條 會員ハ一定時期ニ於ケル資材ノ保有狀況ヲ記載シタル資材保有報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ法人ニ在リテハ每營業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該營業年度ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ、個人ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ事業ニ關スル前年ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十八條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ツベシ

一 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキ

(追十二) 三三〇

(追十二) 三三一

二 自動車ノ生産ノ遂行ニ關シ重大ナル事故發生シタルトキ

三 第二條第一項ノ事業計畫又ハ第八條第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第二十九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ツベシ

一 商號若ハ氏名稱又ハ主タル營業所ノ位置ヲ變更シタルトキ

二 定款ヲ作成シ又ハ變更シタルトキ

三 株金若ハ出資金ノ拂込ヲ徴收シ又ハ社債ヲ發行シタルトキ

四 取締役又ハ監査役ノ選任又ハ退任アリタルトキ

第三十條 會長事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第三十一條 本規程ニ依リ提出スベキ書類ノ様式及提出期限竝ニ本規程中ノ期間及時期ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十二條 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第三十三條 本規程ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員ハ遲滞ナク眞實ノ報告ヲ爲スベシ

第三十四條 會員ハ本規程ニ依リ提出スベキ書類ニ眞實ノ記載ヲ爲スベシ

精密機器ノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十七年一月十日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年二月十二日 商工省告示第十號)

精密機械統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル精密機器ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ當該産業ト稱ス)ノ確立ヲ期シ以テ高度國防國家體制ヲ完備スル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ之ヲ設立シ精密機械統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ東京市ニ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設ケルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會 員

第五條 本會ハ當該産業ヲ營ム者及當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定シタル者ヲ以テ之ヲ組織ス

(追十一) 三三三三

(追十) 四五五

第三章 事業及其ノ執行

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

一 當該産業ニ於ケル生産及配給竝ニ當該産業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

二 當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導

三 當該産業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力等ノ需給ニ關スル統制指導

四 當該産業ノ體制ノ整備確立

五 當該産業ニ於ケル生産品ノ價格ニ關スル事項

六 當該産業ニ於ケル生産品ノ需給調整及價格調整ノ爲ノ施設

七 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設

八 當該産業ニ關スル調査及研究

九 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査

十 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

第七條 會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第十八條關係

三〇ノ五一

第八條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 三人
- 評議員 若干人

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ役員ノ外副會長一人ヲ置クコトヲ得

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
 理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代
 理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ
 理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長
 及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長
 ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十一條 會長ハ商工大臣ノ任命シタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣ノ命ジタル者
トス

副會長、理事長、理事及評議員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命
ズ但シ副會長、理事長及理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十二條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會長 三年
- 副會長 三年
- 理事長 三年
- 理事 三年
- 監事 二年
- 評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ副會長、理事長又ハ理事ヲ解
任スルコトヲ得

第十八條關係

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス
第十三條 會長、副會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣
ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五章 會議

第十四條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

總會ハ會員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ

開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招

集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十二條及第二十三條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條 評議員會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第二十條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ統理ス

第二十一條 前二條ノ外事務局事務分掌及職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計

第二十二條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

第二十三條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ

一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十五條 本會ノ會計年度ハ第十五條第三項ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第十八條關係

第二十六條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十七條 清算人ハ商工大臣ノ解散ノ通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十八條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十九條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十一條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十二條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月六日精密機械統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シタリ

(昭和十七年五月十三日) 商工省告示第五百五十四號

改正 昭和十七年八月七日第八四六號

精密機械統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ精密機械トハ工作機械、工具、軸受、測定機器、光學機器、光學計器及試驗機器並ニ其ノ部分品及附屬品ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 會員ハ一定期間毎ノ精密機械ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ事業ト稱ス)ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ事業計畫ヲ實施スベシ

第三條 會員ハ一定期間毎ノ其ノ事業ニ要スル資材(燃料及動力並ニ部分品及附屬品ヲ含ム以下單ニ資材ト稱ス)ニシテ會長ノ指定スルモノノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十八條關係

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ資材ノ使用狀況若ハ取得狀況ニ付必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ資材ノ使用若ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ會員ニ對シ其ノ供給ヲ受クル部分品ノ種類、數量若ハ供給者ニ付必要ナル事項ヲ指示シ又ハ精密機械ノ製造ニ會長ノ指定スル資材ヲ使用スベキコトヲ命ジ若ハ其ノ使用ヲ制限セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第五條 會長資材ノ需給調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材ノ保有、交換、貸與又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會員ハ精密機械ノ受註ヲ爲ス場合ニ於テハ受註査定票ヲ會長ニ提出スベシ但シ陸軍又ハ海軍ヨリ當該精密機械製造用ノ資材ノ配給ヲ受クル場合及會長ノ指定シタル精密機械ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

會長前項ノ受註査定票ヲ受理シタルトキハ其ノ定ムル受註査定細則ニ依リ受註ノ可否ヲ査定シ當該會員ニ之ヲ通知ス

會長前項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該精密機械製造用資材ノ割當數量ヲ決定シ之ヲ當該會員ニ通知ス

會員ハ第二項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ受註ニ係ル精密機械ノ製造ヲ爲スコ

(追十二) 三三四

(追十二) 三三五

トヲ得ズ但シ第一項但書ノ場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

會員ハ第三項ノ規定ニ依ル割當ニ依リ取得シタル資材ヲ當該精密機械ノ製造以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ會長ノ指定シタル場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前條第二項ノ規定ニ依ル受註ノ承認ヲ爲シタル精密機械ノ規格、數量又ハ完成時期ニ付必要ナル指示ヲ爲スコトアルベシ

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第八條 會員陸軍又ハ海軍ヨリ資材ノ配給ヲ受クベキ機器ヲ受註セントスルトキハ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ事前ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ

第九條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ生産分野ノ劃定、生産ノ割當、規格ノ統一其ノ他精密機械ノ製造ニ關シ種類、數量其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ生産分野ノ劃定又ハ規格ノ統一ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

會員已ムヲ得サル事由ニ因リ第一項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第十條 會員ハ會長ノ指定シタル精密機械ノ一定期間毎ノ生産工程計畫ヲ記載シタル生産工程表ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ生産工程計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スベシ

第十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ其ノ製造中ノ精密機械ノ製造工程ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ其ノ製造中ノ精密機械ノ製造工程ノ變更ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會員ハ一定期間毎ノ精密機械ノ製造完了狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十三條 會員ハ一定期間毎ノ會長ノ指定シタル精密機械ノ納入狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ書類ノ外受領書ノ寫其ノ他ノ證憑書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ精密機械ノ販賣ニ關シ條件、時期、販賣先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(連十二)

三三六

(連十三)

三三七

第十五條 會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、貸與、借受、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一定期間毎ノ事業設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 會員ハ一定期間毎ノ精密機械ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書及一定期間毎ノ精密機械ノ輸送數量ヲ記載シタル輸送実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ精密機械ノ製造技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十九條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ精密機械ノ製造ニ必要ナル見本機械又ハ圖面ノ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十條 會員ハ一定期間毎ノ所要資金ノ額及調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出ス

ベシ

第二十一條 會員ハ一定期間毎ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書及一定期間毎ノ從業者ノ雇傭人員ヲ記載シタル勞務實績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十二條 會長精密機械ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ精密機械ノ豫定原價計算又ハ原價計算ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二十四條 會長特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十五條 會長事業ノ統制運営上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十六條 會員ハ一定期間毎ノ事業狀況ヲ記載シタル事業報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ一定期間毎ノ燃料及動力ノ使用數量ヲ記載シタル燃料動力使用實績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十八條 會員ハ一定時期ニ於ケル資材ノ保有狀況ヲ記載シタル資材保有報告書ヲ會長ニ提出スベシ

(追十二) 三三九

第二十九條 會員ハ法人ニ在リテハ每營業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該營業年度ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ、個人ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ事業ニ關スル前年ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

一 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキ

二 精密機械ノ生産ノ遂行ニ關シ重大ナル事故發生シタルトキ

三 第二條第一項ノ事業計畫ヲ實施スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第三十一條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

一 商號若ハ氏名稱又ハ主タル營業所ノ位置ヲ變更シタルトキ

二 定款ヲ作成シ又ハ變更シタルトキ

三 株金若ハ出資金ノ拂込ヲ徴收シ又ハ社債ヲ發行シタルトキ

四 取締役又ハ監査役ノ選任又ハ退任アリタルトキ

第三十二條 會長事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第三十三條 第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條、第十八條關係

條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條及第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ様式、第二條第一項、第三條、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ提出期限、第二條第一項、第三條、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十六條及第二十七條ノ期間並ニ第二十八條ノ時期ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十四條 第二條第二項、第四條、第五條、第七條第一項、第九條第一項、第十條第二項、第十一條、第十三條第二項、第十四條乃至第十六條、第十八條、第十九條又ハ第二十二條乃至第二十四條ノ規定ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第三十五條 第四條、第十一條又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員ハ遲滯ナク眞實ノ報告ヲ爲スベシ

第三十六條 會員ハ第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條又ハ第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

(追十一) 三四〇

(追十) 四六〇

電氣機器、發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車並ニ電氣通信機器ノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十七年一月十二日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年一月十三日)
商工省告示第十九號

電氣機械統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル電氣機器、發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車並電氣通信機器(以下電氣機械ト稱ス)ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下電氣機械事業ト稱ス)ノ確立ヲ期シ以テ高度國防國家體制ヲ完備スル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且電氣機械事業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ電氣機械統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ東京市ニ之ヲ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ主要都市ニ支部又ハ出張所ヲ設ケルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會員

第五條 本會ハ電氣機械事業ヲ營ム者及電氣機械事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ商工大

第十八條關係

臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第三章 事業及其ノ執行

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 電氣機械ノ生産及配給竝ニ電氣機械事業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他電氣機械事業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
 - 二 電氣機械ノ生産及配給ニ關スル統制指導
 - 三 電氣機械事業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力等ノ需給ニ關スル統制指導
 - 四 電氣機械事業ノ體制ノ整備確立ニ關スル事項
 - 五 電氣機械ノ價格ニ關スル事項
 - 六 電氣機械事業ニ於ケル技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一及經理ノ改善其ノ他電氣機械事業ノ發達ニ關スル施設ニ關スル事項
 - 七 電氣機械事業ニ關スル調査及研究ニ關スル事項
 - 八 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ電氣機械事業ニ屬スル事業ニ關スル検査ニ關スル事項
 - 九 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項
- 第七條 會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ電氣機械事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第八條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

會長必要アリト認ムルトキハ副會長一人ヲ置クコトヲ得

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ電氣機械事業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會長及副會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長及副會長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及副會長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長、副會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長、副會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長、副會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

第十八條關係

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十一條 會長ハ商工大臣ノ任命シタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣ノ命ジタル者トス

副會長、理事長、理事及評議員ハ電氣機械事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ但シ副會長、理事長及理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受ケルモノトス

監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十二條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

副會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ副會長、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

第十三條 會長、副會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五章 會議

第十四條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

總會ハ會員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少トクモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

第十八條關係

二 收支豫算

三 第二十二條又ハ第二十三條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條 評議員會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第二十條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ統理ス

第二十一條 前二條ノ外事務局及其ノ職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計

第二十二條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

第二十三條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ

一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十五條 本會ノ會計年度ハ第十五條第三項ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第二十六條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十七條 清算人ハ商工大臣ノ解散ノ通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十八條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第二十九條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課

徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十一條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十二條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十八條關係

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月六日電氣機械統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可シタリ

(昭和十七年五月十三日)
(商工省告示第五百五十三號)

改正 昭和十七年八月七日第八四五號

電氣機械統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ電氣機械トハ左ニ掲グル機器竝ニ其ノ部分品及附屬品ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

- 一 電氣機器
- 二 發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車
- 三 電氣通信機器

第二條 會員ハ一定期間毎ノ電氣機械ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ事業ト稱ス)ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ事業計畫ヲ實施スベシ

(追十二) 三四二

(追十二) 三四三

第三條 會員ハ一定期間毎ノ其ノ事業ニ要スル資材(燃料及動力竝ニ部分品及附屬品ヲ含ム以下單ニ資材ト稱ス)ニシテ會長ノ指定スルモノノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ資材ノ使用狀況若ハ取得狀況ニ付必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ資材ノ使用若ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ會員ニ對シ其ノ供給ヲ受クル部分品ノ種類、數量若ハ供給者ニ付必要ナル事項ヲ指示シ又ハ電氣機械ノ製造ニ會長ノ指定スル資材ヲ使用スベキコトヲ命ジ若ハ其ノ使用ヲ制限セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第五條 會長資材ノ需給調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材ノ保有、交換、貸與又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會員ハ電氣機械ノ受註ヲ爲ス場合ニ於テハ受註査定票ヲ會長ニ提出スベシ但シ陸軍又ハ海軍ヨリ當該電氣機械製造用ノ資材ノ配給ヲ受クル場合及會長ノ指定シタル電氣機械ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

會長前項ノ受註査定票ヲ受理シタルトキハ其ノ定ムル受註査定細則ニ依リ受註ノ可否ヲ査定シ當該會員ニ之ヲ通知ス

會長前項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該電氣機械製造用資材ノ割當數量ヲ決定シ之ヲ當該會員ニ通知ス

會員ハ第二項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ受註ニ係ル電氣機械ノ製造ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一項但書ノ場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ會員ハ第三項ノ規定ニ依ル割當ニ依リ取得シタル資材ヲ當該電氣機械ノ製造以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ會長ノ指定シタル場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前條第二項ノ規定ニ依ル受註ノ承認ヲ爲シタル電氣機械ノ規格、數量又ハ完成時期ニ付必要ナル指示ヲ爲スコトアルベシ

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第八條 會員陸軍又ハ海軍ヨリ資材ノ配給ヲ受クベキ電氣機械ヲ受註セントスルトキハ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ事前ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ

第九條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ生産分野ノ劃定、生産ノ割當、規格ノ統一其ノ他電氣機械ノ製造ニ關シ種類、數量其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(追十二) 三四四

(追十二) 三四五

會長前項ノ規定ニ依リ生産分野ノ劃定又ハ規格ノ統一ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ第一項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第十條 會員ハ會長ノ指定シタル電氣機械ノ生産工程計畫ヲ記載シタル生産工程表ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ生産工程計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スベシ

第十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ其ノ製造中ノ電氣機械ノ製造工程ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ其ノ製造中ノ電氣機械ノ製造工程ノ變更ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會員ハ一定期間毎ノ電氣機械ノ製造完了狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十三條 會員ハ一定期間毎ノ會長ノ指定シタル電氣機械ノ納入狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ書類ノ外受領書ノ寫其ノ他ノ證憑書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十八條關係

三〇ノ六三ノ四

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ電氣機械ノ販賣ニ關シ條件、時期、販賣先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十五條 會長事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、貸與、借受、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長事業ノ統制運營上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一定期間毎ノ事業設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 會員ハ一定期間毎ノ電氣機械ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書及一定期間毎ノ電氣機械ノ輸送數量ヲ記載シタル輸送実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ電氣機械ノ製造技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十九條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ電氣機械ノ製造ニ必要ナル見本機械又ハ圖面ノ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(追十二) 三四七

第二十條 會員ハ一定期間毎ノ所要資金ノ額及調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十一條 會員ハ一定期間毎ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書及一定期間毎ノ從業者ノ雇傭人員ヲ記載シタル勞務実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十二條 會長電氣機械ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ電氣機械ノ豫定原價計算又ハ原價計算ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二十四條 會長特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十五條 會長事業ノ統制運營上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十六條 會員ハ一定期間毎ノ事業狀況ヲ記載シタル事業報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ一定期間毎ノ燃料及動力ノ使用數量ヲ記載シタル燃料動力使用実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十八條 會員ハ一定時期ニ於ケル資材ノ保有狀況ヲ記載シタル資材保有報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十九條 會員ハ法人ニ在リテハ毎營業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該營業年度ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ、個人ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ事業ニ關スル前年ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

- 一 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキ
- 二 電氣機械ノ生産ノ遂行ニ關シ重大ナル事故發生シタルトキ
- 三 第二條第一項ノ事業計畫又ハ第十條第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第三十一條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

- 一 商號若ハ氏名名稱又ハ主タル營業所ノ位置ヲ變更シタルトキ
- 二 定款ヲ作成シ又ハ變更シタルトキ
- 三 株金若ハ出資金ノ拂込ヲ徴收シ又ハ社債ヲ發行シタルトキ
- 四 取締役又ハ監査役ノ選任又ハ退任アリタルトキ

第三十二條 會長事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ニ關シ必要ナル

事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第三十三條 第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ様式、第二條第一項、第三條、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ提出期限、第二條第一項、第三條、第八條、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十六條及第二十七條ノ期間並ニ第二十八條ノ時期ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十四條 第二條第二項、第四條、第五條、第七條第一項、第九條第一項、第十條第二項、第十一條、第十三條第二項、第十四條乃至第十六條、第十八條、第十九條又ハ第二十二條乃至第二十四條ノ規定ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第三十五條 第四條、第十一條又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員ハ遲滞ナク眞實ノ報告ヲ爲スベシ

第三十六條 會員ハ第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條又ハ第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

原動機(發電用ノ蒸汽罐、蒸汽タービン及水車ヲ除ク)及
生産用機器ノ製造及販賣ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十
七年一月十五日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年一月十六日)
(商工省告示第三十一號)

産業機械統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル原動機(發電用ノ蒸汽罐、蒸汽タービン及水車ヲ除ク)及生産用機器
ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ當該産業ト稱ス)ノ確立ヲ期シ以テ高度國防國家體制ヲ完
備スル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且當該産業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目
的トス

第二條 本會ハ重要産業團體ニ依リ之ヲ設立シ産業機械統制會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ東京市ニ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會員

(連十二)

三五〇

(連十) 四六九

第五條 本會ハ當該産業ヲ營ム者及當該産業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ商工大臣ノ指定
シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第三章 事業及其ノ執行

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 當該産業ニ於ケル生産及配給並ニ當該産業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力
等ノ需給並ニ輸送ニ關スル政府ノ計畫其ノ他當該産業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
- 二 當該産業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導
- 三 當該産業ニ要スル資材、設備、資金、勞務、燃料、動力等ノ需給並ニ輸送ニ關スル統
制指導
- 四 當該産業ノ體制ノ整備確立
- 五 當該産業ニ於ケル生産品ノ價格ニ關スル事項
- 六 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル
者ノ當該産業ニ屬スル事業ノ發達ニ關スル施設
- 七 當該産業ニ關スル調査及研究
- 八 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル検査
- 九 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第十八條關係

三〇ノ六五

第七條 會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ當該産業ニ屬スル事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第八條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 役員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一人

理事長 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ當該産業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ
監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十一條 會長ハ商工大臣ノ任命シタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣ノ命ジタル者トス

理事長、理事及評議員ハ當該産業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ但シ理事及理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス

監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十二條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得
補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ殘任期間トス

第十三條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條關係

第五章 會議

第十四條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

總會ハ會員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ

開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシテ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ招集ス

總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招

集ノ通知ヲ發スルモノトス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十二條又ハ第二十三條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十七條 會長ハ毎年通常總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十八條 評議員會ハ會長必要アリト認ムルトキ隨時之ヲ開催ス

評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十九條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第二十條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ承ケ事務局ヲ統理ス

第二十一條 前二條ノ外事務局及其ノ職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 會計

第二十二條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

第二十三條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ

一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十四條 第二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十五號 本會ノ會計年度ハ第十五條第三項ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第二十六條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十七條 清算人ハ商工大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十八條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十八條關係

第二十九條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十一條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十二條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年五月六日産業機械統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認

可シタリ (昭和十七年五月十三日) (商工省告示第五百五十二號)

改正 昭和十七年八月七日第八四四號

産業機械統制會統制規程

第一條 本規定ニ於テ産業機械トハ原動機(發電用ノ蒸氣罐、蒸氣タービン及水車ヲ除ク)及生産用機器並ニ其ノ部分品及附屬品ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 會員ハ一定期間毎ノ産業機械ノ製造及販賣ニ關スル事業(以下單ニ事業ト稱ス)ノ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

會員ハ第一項ノ事業計畫ヲ實施スベシ

第三條 會員ハ一定期間毎ノ其ノ事業ニ要スル資材(燃料及動力並ニ部分品及附屬品ヲ含ム以下單ニ資材ト稱ス)ニシテ會長ノ指定スルモノノ需要豫定數量ヲ記載シタル資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ

第十八條關係

第四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ資材ノ使用狀況若ハ取得狀況ニ付必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ資材ノ使用若ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ會員ニ對シ其ノ供給ヲ受クル部分品ノ種類、數量若ハ供給者ニ付必要ナル事項ヲ指示シ又ハ産業機械ノ製造ニ會長ノ指定スル資材ヲ使用スベキコトヲ命ジ若ハ其ノ使用ヲ制限セントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第五條 會長資材ノ需給調整ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材ノ保有、交換、貸與又ハ讓渡ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會員ハ産業機械ノ受註ヲ爲ス場合ニ於テハ受註査定票ヲ會長ニ提出スベシ但シ陸軍又ハ海軍ヨリ當該産業機械製造用ノ資材ノ配給ヲ受クル場合及會長ノ指定シタル産業機械ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

會長前項ノ受註査定票ヲ受理シタルトキハ其ノ定ムル受註査定細則ニ依リ受註ノ可否ヲ査定シ當該會員ニ之ヲ通知ス

會長前項ノ規定ニ依リ受註ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該産業機械製造用ノ資材ノ割當數量ヲ決定シ之ヲ當該會員ニ通知ス

トヲ得ズ但シ第一項但書ノ場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

會員ハ第三項ノ規定ニ依ル割當ニ依リ取得シタル資材ヲ當該産業機械ノ製造以外ノ用途ニ供スルコトヲ得ズ但シ會長ノ指定シタル場合及特別ノ事由ニ因リ會長ノ承認ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前條第二項ノ規定ニ依ル受註ノ承認ヲ爲シタル産業機械ノ規格、數量又ハ完成時期ニ付必要ナル指示ヲ爲スコトアルベシ

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ前項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第八條 會員陸軍又ハ海軍ヨリ資材ノ配給ヲ受クベキ産業機械ヲ受註セントスルトキハ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ但シ已ムヲ得ザル事由ニ因リ事前ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ之ヲ一定期間毎ニ取纏メ會長ニ届出ヅベシ

第九條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ生産分野ノ劃定、生産ノ割當規格ノ統一其ノ他産業機械ノ製造ニ關シ種類、數量其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長前項ノ規定ニ依リ生産分野ノ劃定又ハ規格ノ統一ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

會員已ムヲ得ザル事由ニ因リ第一項ノ規定ニ依ル會長ノ指示ニ從フコト能ハザルトキハ會長ノ承認ヲ受クベシ

第十條 會員ハ會長ノ指定シタル産業機械ノ一定期間毎ノ生産工程計畫ヲ記載シタル生産工程表ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

會長必要アリト認ムルトキハ前項ノ生産工程計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ
會員ハ第一項ノ生産工程計畫ヲ實施スベシ

第十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ヲシテ其ノ製造中ノ産業機械ノ製造工程ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ會員ニ對シ其ノ製造中ノ産業機械ノ製造工程ノ變更ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會員ハ一定期間毎ノ産業機械ノ製造完了狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ
第十三條 會員ハ一定期間毎ノ會長ノ指定シタル産業機械ノ納入狀況ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ前項ノ書類ノ外受領書ノ寫其ノ他ノ證憑書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ産業機械ノ販賣ニ關シ條件、時期、販賣先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

(連十二) 三五四

(連十二) 三五五

第十五條 會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、貸與、借受、讓渡又ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

會長事業ノ統制運営上特ニ必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、委託經營又ハ共同經營ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十六條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ一定期間毎ノ事業設備ノ建設狀況ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條 會員ハ一定期間毎ノ産業機械ノ輸送豫定數量ヲ記載シタル輸送計畫書及一定期間毎ノ産業機械ノ輸送數量ヲ記載シタル輸送実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ會長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ産業機械ノ製造技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十九條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ産業機械ノ製造ニ必要ナル見本機械又ハ圖面ノ利用ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十條 會員ハ一定期間毎ノ所要資金ノ額及調達方法ヲ記載シタル資金計畫書ヲ會長ニ提出ス

ベシ

第二十一條 會員ハ一定期間毎ノ從業者ノ雇傭豫定人員ヲ記載シタル勞務計畫書及一定期間毎ノ從業者ノ雇傭人員ヲ記載シタル勞務実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十二條 會長産業機械ノ生産ノ確保ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ從業者ノ作業能率ノ増進又ハ移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ産業機械ノ豫定原價計算又ハ原價計算ヲ記載シタル書類ヲ提出スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第二十四條 會長特ニ必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十五條 會長事業ノ統制運営上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第二十六條 會員ハ一定期間毎ノ事業狀況ヲ記載シタル事業報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十七條 會員ハ一定期間毎ノ燃料及動力ノ使用數量ヲ記載シタル燃料動力使用実績報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第二十八條 會員ハ一定時期ニ於ケル資材ノ保有狀況ヲ記載シタル資材保有報告書ヲ會長ニ報告スベシ

(追十四)

三五六

(追十二)

三五七

第二十九條 會員ハ法人ニ在リテハ毎營業年度經過後遲滞ナク財産目録、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益金ノ處分ニ關スル書類及當該營業年度ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ、個人ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ事業ニ關スル前年ノ收支決算ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

- 一 本規程ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル事項ヲ完了シタルトキ
- 二 産業機械ノ生産ノ遂行ニ關シ重大ナル事故發生シタルトキ
- 三 第二條第一項ノ事業計畫ヲ實施スルコト能ハザルニ至リタルトキ

第三十一條 左ニ掲グル場合ニ於テハ會員ハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ヅベシ

- 一 商號若ハ氏名名稱又ハ主タル營業所ノ位置ヲ變更シタルトキ
- 二 定款ヲ作成シ又ハ變更シタルトキ
- 三 株金若ハ出資金ノ拂込ヲ徴收シ又ハ社債ヲ發行シタルトキ
- 四 取締役又ハ監査役ノ選任又ハ退任アリタルトキ

第三十二條 會長事業ノ統制運営上必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ其ノ事業ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ズルコトアルベシ

第三十三條 第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三

第十八條關係

三〇ノ七〇ノ七

條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ様式、第二條第一項、第三條、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條及第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ提出期限、第二條第一項、第三條、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十六條及第二十七條ノ期間並ニ第二十八條ノ時期ハ會長別ニ之ヲ定ム

第三十四條 第二條第二項、第四條、第五條、第七條第一項、第九條第一項、第十條第二項、第十一條、第十三條第二項、第十四條乃至第十六條、第十八條、第十九條又ハ第二十二條乃至第二十四條ノ規定ニ依ル會長ノ指示又ハ命令ヲ受ケタル會員ハ之ニ從フベシ

第三十五條 第四條、第十一條又ハ第三十二條ノ規定ニ依リ報告ヲ命ゼラレタル會員ハ遲滯ナク眞實ノ報告ヲ爲スベシ

第三十六條 會員ハ第二條第一項、第三條、第六條第一項、第八條、第十條第一項、第十二條、第十三條第一項、第十六條、第十七條、第二十條、第二十一條、第二十三條又ハ第二十六條乃至第二十九條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

非鐵金屬ノ加工及其ノ加工品ノ販賣ニ關スル事業ノ統制 會ハ昭和十七年一月十五日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年一月十六日
商工省告示第二十八號)

金屬工業統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ金屬工業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且金屬工業ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ金屬工業統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置キ必要ニ應ジ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第五條 本定款ニ於テ金屬工業ト稱スルハ電線竝ニ銅、アルミニウム、マグネシウム及其ノ合金ノ板、條、管、棒、線及箔(打箔ヲ除ク)ノ製造販賣ニ關スル事業ヲ謂フ

第二章 會員

第六條 本會ハ左ニ掲グル者ニシテ商工大臣ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織ス

一 金屬工業ヲ營ム者

第十八條關係

二 前號ニ掲グル者ヲ以テ組織スル團體
三 第一號ニ掲グル者及前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體又ハ前號ニ掲グル團體ヲ以テ組織スル團體

第七條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

第八條 本會其ノ事業ヲ行フ爲特ニ必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第三章 事業

第九條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達成スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 金屬工業ニ關スル生産及配給竝ニ之ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他金屬工業ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
- 二 金屬工業ニ於ケル生産及配給ニ關スル統制指導其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ金屬工業ニ關スル事業ニ關スル統制指導
- 三 金屬工業ノ整備確立
- 四 金屬工業ニ於ケル技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ金屬工業ニ關スル事業ノ發達ニ關スル施設
- 五 金屬工業ニ關スル調査及研究

六 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ金屬工業ニ關スル事業ニ關スル検査

七 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達成スルニ必要ナル事業

第十條 本會ハ事業ノ執行ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ統制規程ヲ定ム

第四章 役員

第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

第十二條 會長ハ商工大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ズ

理事長及理事ハ金屬工業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ商工大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズ

評議員ハ金屬工業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ

監事ハ評議員ノ過半數ノ同意ニ依リ之ヲ選任ス

第十三條 本會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

第十八條關係

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ在任スベカリシ期間トス
會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコ
トヲ得

第十四條 會長ハ本會ヲ代表シ金屬工業ノ統制指導其ノ他會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故
アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十五條 會長、理事長及理事ハ商工大臣ノ認可ヲ得タル場合ヲ除クノ外他ノ職務又ハ商業ニ從
事スルコトヲ得ズ

(追十) 四七八

第五章 會議

第十六條 總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス

定時總會ハ毎年一回三月ニ臨時總會ハ會長必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス

第十七條 總會ハ會長之ヲ召集シ會長ハ議長トシテ議事ヲ處理ス

總會ノ召集ハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ記載シタル書面ヲ以テ會
員ニ通知シテ之ヲ爲ス

第十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 定款第七條及第八條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十九條 會長ハ定時總會ニ於テ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 事務局

第二十條 本會ニ事務局ヲ置ク

前項ノ事務局ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム

第七章 會計

第二十一條 本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十八條關係

三〇ノ七五

第二十二條 前條ノ外會計ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム

第八章 過怠金

第二十三條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課ス

第二十四條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ統制規程ニ定ムル處ニ依リ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課ス

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年九月十四日金屬工業統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通

認可シタリ

(昭和十七年九月十七日 商工省告示第九百九十三號)

金屬工業統制會統制規程

第一條 本規程ニ於テ金屬工業品トハ電線及其ノ附屬品並ニ銅、アルミニウム、マグネシウム及其ノ合金ノ板、條、管、棒、線及箔(打箔ヲ除ク)ニシテ會長ノ指定シタルモノヲ謂フ

第二條 金屬工業品ノ製造業者又ハ其ノ團體ニシテ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者(以下製造業者ト稱ス)及會員タル配給統制機關(以下配給統制機關ト稱ス)ハ會長ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

第三條 會長ハ其ノ定ムル所ニ依リ金屬工業品ノ製造業者ニ對シ商工大臣ノ指示スル所ニ從ヒ種類別配給先別生産數量ヲ指示ス但シ主要材料ヲ軍需ヨリ配給ヲ受クルモノニ付テハ會長ハ豫メ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ承認ヲ受クルモノトス
前項ノ指示ヲ受ケタル製造業者ハ其ノ指示ニ從ヒ金屬工業品ノ製造(團體ニ在リテハ團體員タ

第十八條關係

ル製造業者ノ製造以下同ジ)ヲ爲スベシ但シ設備ノ故障其ノ他特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テハ製造業者ハ遲滞ナク其ノ理由ヲ具シ製造見込數量ヲ會長ニ届出ツベシ

第四條 製造業者前條ノ規定ニ依リ指示セラレタルモノ以外ノモノノ製造ヲ爲サントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ

第五條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ金屬工業品製造用ノ原料及資材(以下原料資材ト稱ス)ノ需要豫定數量ヲ記載シタル原料及資材計畫書ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第六條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ原料資材ノ使用又ハ取得ニ關シ數量、用途、取得先其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第七條 會長原料資材ノ需給ノ調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ原料資材ノ保有ヲ命ジ又ハ其ノ所有スル原料資材ノ交換、貸渡若ハ借受又ハ讓渡若ハ讓受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ原料資材ニ付配給受數量、購入數量、使用數量及在庫數量ヲ記載シタル書類ヲ提出スベシ

第九條 製造業者其ノ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張又ハ改良ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨ヲ記

(追十二)

三六〇

(追十二)

三六一

載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第十條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ製造業者ニ對シ其ノ事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張若ハ改良、讓渡若ハ讓受又ハ貸渡若ハ借受ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十一條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ金屬工業品ノ品種別配給先別生産數量及品種別在庫數量ヲ記載シタル生産報告書ヲ會長ニ提出スベシ但シ軍事上ノ機密ニ屬スル事項ニシテ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定アリタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十二條 製造業者ハ其ノ製造シタル金屬工業品ヲ會長ノ指定シタル配給統制機關以外ノ者ニ賣渡スコトヲ得ズ但シ軍需ニシテ陸軍大臣又ハ海軍大臣ヨリ特別ノ指定アリタルモノ及會長ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 會長配給統制上必要アリト認ムルトキハ配給統制機關ニ對シ金屬工業品ノ販賣方法又ハ販賣機構ノ改善其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ配給統制機關ニ對シ金屬工業品ノ買受又ハ賣渡ニ付價格、受渡條件其ノ他ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十五條 配給統制機關販賣業者ノ指定又ハ其ノ取消ヲ爲サントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ

配給統制機關金屬工業品ノ販賣方法若ハ販賣機構ノ變更ヲ爲サントスルトキ亦前項ニ同ジ

第十六條 配給統制機關金屬工業品ノ買受又ハ賣渡ニ付製造業者、販賣業者又ハ其ノ他ノ者ト基

本協定ヲ締結セントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十七條 配給統制機關ハ會長ノ定ムル所ニ依リ金屬工業品ノ製造業者別配給先別品種別買受數

量及賣渡數量並ニ品種別在庫數量ヲ記載シタル販賣報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第十八條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者又ハ配給統制機關ニ對シ金屬工業品ノ品種、數

量其ノ他ヲ指示シテ其ノ保有ヲ命ズルコトアルベシ

第十九條 製造業者又ハ配給統制機關其ノ事業ノ全部若ハ一部ノ讓渡、讓受、委託、受託、共同

經營、廢止若ハ休止又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ記載シタル

書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケ製造業者又ハ配給統制機關ニ對シ

其ノ事業ノ全部若ハ一部ノ讓渡、讓受、委託、受託、共同經營、廢止若ハ休止又ハ合併ニ關シ

必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十一條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ技術ノ研究、改善、公開又ハ交流ニ關

シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十二條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ金屬工業品又ハ原料資材ノ規格ノ統一

ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十三條 會長必要アリト認ムルトキハ商工大臣ノ承認ヲ受ケタル検査規程ノ定ムル所ニ依リ

製造業者ヲシテ其ノ製造シタル金屬工業品ノ検査ヲ受ケシムルコトアルベシ

第二十四條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ原價計算ニ關スル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第二十五條 製造業者及配給統制機關ハ會長ノ定ムル所ニ依リ所要資金ノ調達方法ヲ記載シタル

資金計畫書ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十六條 製造業者及配給統制機關ハ會長ノ定ムル所ニ依リ當該事業年度終了後遲滞ナク當該

事業年度ニ於ケル資金ノ使途、調達方法其ノ他ノ事項ヲ記載シタル資金報告書ヲ會長ニ提出ス

ベシ

第二十七條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者又ハ配給統制機關ニ對シ其ノ事業ノ經理ノ改

善ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第二十八條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業ニ要スル技術者及勞務者ノ雇傭豫定人員

ヲ記載シタル勞務計畫書ヲ會長ニ提出スベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第二十九條 製造業者ハ會長ノ定ムル所ニ依リ當該事業年度終了後遲滞ナク當該年度ニ於ケル勞

務需給ノ概況其ノ他ヲ記載シタル勞務報告書ヲ會長ニ提出スベシ

第三十條 會長必要アリト認ムルトキハ製造業者ニ對シ技術者又ハ勞務者ノ作業能率ノ増進又ハ

移動ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第三十一條 製造業者及配給統制機關ハ會長ノ定ムル所ニ依リ毎事業年度終了後二箇月以内ニ當該事業年度ニ於ケル財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益金ノ處分ニ關スル書類ヲ會長ニ提出スベシ

第三十二條 會長必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル所ニ依リ製造業者ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第三十三條 製造業者又ハ配給統制機關ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ會長ニ届出ツベシ

一 商號、名稱又ハ主タル事務所若ハ營業所ノ變更アリタルトキ

二 定款ノ變更アリタルトキ

三 役員ノ變更アリタルトキ

第三十四條 製造業者又ハ配給統制機關ハ第二條第二項、第六條、第七條、第十條、第十三條、第十四條、第十八條、第二十條乃至第二十三條、第二十七條及第三十條ノ規定ニ依ル會長ノ命令又ハ指示ヲ受ケタルトキハ之ニ從フベシ

第三十五條 製造業者又ハ配給統制機關ハ第三條第三項、第五條、第八條、第九條、第十一條、第十七條、第十九條、第二十四條乃至第二十六條、第二十八條、第二十九條、第三十一條及第

第三十三條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコトヲ得ズ

第三十六條 本會ハ本規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトアルベシ

第三十七條 本規程ニ依リ會員タル團體ヲ組織スル者ヨリ會長ニ提出スベキ書類ハ會長ノ定ムルモノヲ除クノ外當該團體ヲ經由スベシ

貿易業並ニ貿易ノ振興及統制ニ關スル事業ノ統制會ハ昭和十七年一月二十七日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ

(昭和十七年一月二十八日
商工省告示第八十七號)

改正 昭和十七年五月四日第四百九十一號

日本貿易統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ本邦貿易ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且貿易ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ之ヲ設立シ日本貿易統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置キ必要ニ應ジ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會 員

第五條 本會ハ左ニ掲グル者ニシテ商工大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 貿易組合及貿易組合聯合會
- 二 輸出ノ統制ヲ爲ス會社
- 三 輸入ノ統制ヲ爲ス會社

第十八條關係

- 四 輸出又ハ輸入ノ統制ヲ爲ス團體
- 五 主要貿易業者

第三章 事業及其ノ執行

第六條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 貿易ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫ニ關スル事項
- 二 貿易ノ實行計畫ノ設定及遂行ニ關スル事項
- 三 貿易ノ振興及調整方策ノ決定ニ關スル事項
- 四 貿易ニ關スル統制指導及檢査ニ關スル事項
- 五 貿易業ノ整備ニ關スル事項
- 六 貿易ニ關スル調査、研究、報道及宣傳ニ關スル事項
- 七 貿易ニ關スル施設ニ關スル事項
- 八 其ノ他本會ノ目的達成ニ必要ナル事項

第七條 會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ニ關スル統制ニ付テハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル

第八條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 役員

(連十一) 八〇二

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 理事 若干名
- 監事 若干名
- 評議員 若干名(内若干名ヲ常任ト爲スコトヲ得)

前項ノ役員ノ外本會ニ理事長一名ヲ置クコトヲ得

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ
監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十一條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ズ

前項ノ銓衡委員ハ貿易業ニ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ズ

理事長、理事及評議員ハ貿易業ニ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ但シ理事長及

第十八條關係

三〇ノ七九

(連十) 四八三

三〇ノ七八

理事ノ任命ハ商工大臣ノ認可ヲ受クルモノトス
監事ハ評議員ノ過半数ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十二條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

會長 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ商工大臣ノ認可ヲ受ケ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十三條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ商工大臣ノ認可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五章 總會

第十四條 總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トス

定時總會ハ毎年一回三月ニ、臨時總會ハ必要アリト認ムルトキ之ヲ開催ス

總會ハ會長之ヲ招集シ之ガ議長トナル

第十五條 總會ヲ招集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ

示シ招集ノ通知ヲ發スルモノトス

第十六條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第二十四條及第二十五條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認メタル事項

第十七條 會長ハ毎年總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第六章 事務局

第十八條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第十九條 事務局ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 専門委員

第二十條 本會ニ専門委員若干名ヲ置クコトヲ得

専門委員ハ貿易振興及調整方策ニ關スル具體的事項ニ付會長ノ諮問ニ應ズ

第二十一條 前條ノ専門委員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ會長之ヲ委囑ス

第八章 名譽顧問及顧問

第二十二條 本會ニ名譽顧問及顧問若干名ヲ置クコトヲ得

第十八條關係

名譽顧問及顧問ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ商工大臣ノ承認ヲ得テ會長之ヲ委嘱ス
名譽顧問及顧問ハ本會ノ事業遂行上ノ重要ナル事項ニ參畫ス

第九章 連絡協議會

第二十三條 本會ニ貿易關係産業トノ連絡ヲ密ニスル爲連絡協議會ヲ置クコトヲ得
連絡協議會ハ本會ト關係生産部門等トノ連絡調整ヲ圖ル

第十章 會計

第二十四條 本會ハ會員ニ對シ經費ヲ賦課ス

第二十五條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲必要アルトキハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ會員ノ全部又ハ

一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十六條 本會已ムヲ得ザル事情アリト認ムルトキハ前二條ノ規定ニ依ル賦課金ヲ減免スルコトヲ得

第二十七條 第二十四條及第二十五條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十八條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十一章 解散及清算

第二十九條 本會ハ商工大臣ノ命令ニ因リ解散ス

第三十條 清算人ハ商工大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

(追十) 四八六

(追十) 四八七

第三十一條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十二條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十三條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第十二章 罰則

第三十四條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十五條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ一萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

造船事業ノ統制會ハ昭和十七年一月二十八日成立シタリ

其ノ定款左ノ如シ(昭和十七年一月三十日
遞信省告示第百二十七號)

造船統制會定款

第一章 總則

第一條 本會ハ本邦ニ於ケル造船事業ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且造船ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ造船統制會ト稱ス

第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク

會長必要アリト認ムルトキハ出張所ヲ置クコトヲ得

第二節 會員

第四條 本會ハ左ニ掲グル者ニシテ遞信大臣ノ指定シタルモノヲ以テ之ヲ組織ス

一 長サ百米以上ノ船舶(軍用艦船ヲ含ム以下之ニ同ジ)ヲ製造シ得ル造船及造船設備並ニ長サ百米以上ノ船舶ヲ入渠セシメ得ル船渠ヲ備フル造船會社

二 造船事業ヲ營ム者ニシテ前號ニ該當セザルモノヲ以テ組織シタル團體

三 前各號ニ掲グルモノノ外船舶用機關若ハ艤裝品ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業ヲ營ム者又ハ

(追十)

四八八

夫等ノ者ヲ以テ組織シタル團體

(追十)

四八九

第五條 前條ノ規定ニ該當セザルモノト雖モ船舶、船舶用機關若ハ艤裝品ノ製造又ハ修繕ヲ爲ス事業ヲ營ム者又ハ夫等ノ者ヲ以テ組織シタル團體ニシテ遞信大臣ノ承認ヲ受ケタルモノハ之ヲ會員ト爲スコトヲ得

第六條 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ造船ニ關スル事業ノ統制ニ付別ニ定ムル統制規程ニ從フモノトス

第七條 會員及會員タル團體ヲ組織スル者本會ヨリ造船ニ關スル事業ニ付資料ノ提出ヲ求メラレタルトキハ遲滞ナク之ヲ提出スル義務アルモノトス

第八條 會員及會員タル團體ヲ組織スル者ハ造船ニ關シ其ノ業務若ハ財産ノ狀況又ハ帳簿書類、設備其ノ他ノ物件ニ付本會ノ役員又ハ職員ガ會長ノ命ニ依リ検査ヲ行フ場合ニハ之ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避スルコトヲ得ザルモノトス

第三章 事業及其ノ執行

第九條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 船舶、船舶用機關及艤裝品(以下船舶等ト稱ス)ノ製造、修繕及之ニ要スル設備ニ關スル政府ノ計畫並ニ造船ニ關スル事業ニ要スル資材、資金、技術者、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫其ノ他造船ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫

第十八條關係

- 二 船舶等ノ製造及修繕ニ關スル實施計畫ノ設定竝ニ其ノ遂行ニ關スル事項
 - 三 資材、資金、設備、技術者、勞務等ニ關スル實施計畫ノ設定竝ニ其ノ遂行
 - 四 船舶等ノ製造、修繕及之ニ要スル設備ニ關スル統制指導其ノ他造船ニ關シ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ニ關スル統制指導
 - 五 造船ニ關スル事業ノ整備確立
 - 六 技術ノ向上、能率ノ増進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他造船ニ關シ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ノ發達ニ關スル施設
 - 七 船舶等ノ製造及修繕ノ遂行ニ必要ナル施設
 - 八 船舶等ノ製造價格及修繕料ニ關スル調査及研究
 - 九 造船ニ關スル調査及研究
 - 十 造船ニ關シ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ニ關スル検査
 - 十一 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第十條 本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四章 役員及事務局
- 第十一條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一人

(追十)

(追十)

- 理事長 一人
 - 理事 若干人
 - 監事 若干人
 - 評議員 若干人
- 第十二條 會長ハ遞信大臣ノ命ジタル銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ遞信大臣ノ命ジタルモノトス理事長及理事ハ造船ニ關スル事業ニ付經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズ
- 第十三條 役員ノ任期ハ左ノ通トス
- 會長 三年
 - 理事長 三年
 - 理事 三年
 - 監事 二年
 - 評議員 二年
- 會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコ

トヲ得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル役員ノ任期ハ前任者ノ任期ノ殘存期間トス

第十四條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ズ但シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條 會長ハ本會ヲ代表シ造船ニ關スル事業ノ統制指導其ノ他ノ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定ムル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監督ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十六條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

事務局及其ノ職員ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第五章 會議

第十七條 總會ハ定時總會及臨時總會トス

定時總會ハ毎年一回事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開キ臨時總會ハ會長必要アリト認メタルト

(追十)

四九二

(追十)

四九三

キ之ヲ開ク

前項ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル但シ初年度ハ本會設立ノ日ニ始ル

總會ハ會長之ヲ招集シ之ガ議長トナル

第十八條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 定款第二十條及第二十一條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

第十九條 會長ハ左ニ掲グル事項ニ付定時總會ニ報告スルモノトス但シ財産ノ狀況ハ監事ヲシテ之ヲ報告セシム

一 事業報告書

二 財産目錄、貸借對照表及收支計算書

第六章 會計

第二十條 本會ノ經費ハ會員ニ對シ之ヲ賦課ス

第二十一條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲必要アルトキハ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部

第十八條關條

ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十二條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二十三條 本會ノ會計年度ハ事業年度ニ依ル

第七章 過怠金

第二十四條 本會ハ本定款ニ違反シタル會員ニ對シ金五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十五條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ金壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ

得

第八章 解散及清算

第二十六條 本會ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ解散ス

第二十七條 本會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノトス

第二十八條 清算人ハ遞信大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十九條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス但シ清算

及財産處分ノ方法ニ付テハ裁判所ノ認可ヲ受クルモノトス

第三十條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ會員

ニ對シ賦課徵收スルコトヲ得

(連十一)

四九四

(連十二)

八〇三

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七

年六月十九日造船統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ通認可

シタリ

(昭和十七年六月二十二日)
遞信省告示第九百三十六號

造船統制會統制規程

第一條 會長ハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ一定期間ニ於テ製造スベキ船

舶、船體、船舶用機關及機裝品(以下船舶等ト稱ス)ノ種類、型式及數量ノ割當竝ニ此等ニ關シ

必要ナル事項ヲ指示ス

第二條 會員ハ別ニ定ムル所ニ依リ當該會員又ハ當該會員タル團體ヲ組織スル者ノ一定期間ニ於

テ製造スベキ船舶等ノ製造實施計畫ヲ設定シ會長ノ承認ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦

同シ

第三條 會長ハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ一定期間ニ於テ修繕スベキ船舶

ノ割當竝ニ之ニ關シ必要ナル事項ヲ指示ス

第四條 會長ハ別ニ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ船舶等ノ製

造及修繕竝ニ設備ノ新設、増設及補修ニ要スル資材(以下資材ト稱ス)ノ配給割當竝ニ此等ニ關

第十八條關係

シ必要ナル事項ヲ指示ス

第五條 會長ハ政府ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、讓渡若ハ讓受又ハ此等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第六條 會員ハ當該會員又ハ當該會員タル團體ヲ組織スル者ニ於テ重要ナル設備ノ新設、増設、變更、廢止、休止、讓渡又ハ讓受ニ付政府ノ許可ヲ受ケントスルトキハ豫メ會長ニ之ガ事由ヲ具シ連絡ヲ爲スベシ

第七條 會長ハ政府ノ承認ヲ受ケ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、合同、委託經營若ハ共同經營又ハ此等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第八條 會員ハ當該會員又ハ當該會員タル團體ヲ組織スル者ニ於テ其ノ事業ノ開始、廢止、休止、讓渡、讓受、合同、委託經營又ハ共同經營ニ付政府ノ許可ヲ受ケントスルトキハ豫メ會長ニ之ガ事由ヲ具シ連絡ヲ爲スベシ

第九條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ資材、船舶用機關及艤裝品ノ注文又ハ下請工場ノ利用又ハ此等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ保有スル資材、船舶用機關若ハ艤裝品ノ交換、融通、讓渡若ハ讓受又ハ此等ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十一條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ屬スル従業員又ハ設備ノ融通ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十二條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ締結スベキ船舶等ノ製造契約ニ關シ價格、條件其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十三條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ締結スベキ船舶ノ修繕契約ニ關シ修繕料、條件其ノ他必要ナル事項ヲ指示スルコトアルベシ

第十四條 會長必要アリト認ムルトキハ會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ付左ノ各號ノ事項ニ關シ必要ナル指示ヲ爲スコトアルベシ

- 一 船舶等ニ關スル規格ノ實施
- 二 船舶等ノ製造又ハ修繕ニ關スル技術ノ調査、研究、改善、公開又ハ交換
- 三 船舶等ノ設計ノ分擔
- 四 作業ノ改善及作業能率ノ増進

- 五 事業ノ經理ノ改善
- 六 従業員ノ待遇及給與ノ合理化
- 七 勞務管理ノ改善

第十五條 會長ハ第一條、第三條又ハ第九條乃至第十四條ノ規定ニ依リ指示ヲ爲ス場合ニ於テ當該指示事項ガ政府ノ許可、認可等ヲ受クルコトヲ要スルモノナルトキハ豫メ政府ノ承認ヲ受クベシ

第十六條 會長船舶等ノ製造又ハ修繕ニ關スル事業ノ統制運營上又ハ其ノ發達ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ補償金、補助金又ハ獎勵金ヲ交付スルコトアルベシ

第十七條 會員タル團體其ノ定款、統制ニ關スル規定其ノ他ノ規約ノ制定、變更又ハ廢止ニ付政府ノ許可ヲ受ケントスルトキハ豫メ會長ノ承認ヲ受クベシ

第十八條 會員ハ別ニ定ムル所ニ依リ當該會員又ハ當該會員タル團體ヲ組織スル者ニ付左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ

- 一 船舶等ノ製造狀況
- 二 船舶ノ修繕狀況

- 三 設備ノ現状
 - 四 設備ノ新設、増設及變更ノ進捗狀況
 - 五 従業員ノ所要豫定人員等ニ關スル計畫
 - 六 資材、船舶用機關及艙裝品ノ輸送ニ關スル計畫
 - 七 資金ノ所要額及其ノ調達ニ關スル計畫
 - 八 竣工セル船舶等ノ製造原價
 - 九 資材、船舶用機關及艙裝品ノ調達及使用狀況
 - 十 電力ノ調達及使用狀況
 - 十一 勞務者ノ移動狀況
 - 十二 定款、職制及人事ノ主要ナル變更
- 第十九條 會員ハ每事業年度經過後遲滞ナク當該會員又ハ當該會員タル團體ヲ組織スル會社ノ當該年度ノ事業報告書、貸借對照表、財産目錄、損益計算書及利益金處分ニ關スル書類ヲ會長ニ提出スベシ
- 第二十條 團體タル會員ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ會長ニ提出スベシ
- 一 會員タル團體ヲ組織スル者ノ變更
 - 二 會員タル團體ノ役員ノ變更

三 會員タル團體ヲ組織スル者ニ對スル一般指示事項
第二十一條 會長必要アリト認ムルトキハ前三條ノ規定ニ定ムルモノノ外會員ニ對シ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ノ事業ニ關シ調査又ハ報告ヲ命ズルコトアルベシ

地方鐵道事業及軌道事業ノ統制會ハ昭和十七年五月三十日成立シタリ其ノ定款左ノ如シ
(昭和十七年六月一日鐵道省告示第百十四號)

鐵道軌道統制會定款

第一章 總 則

第一條 本會ハ地方鐵道事業及軌道事業ノ綜合的統制運營ヲ圖リ且交通ニ關スル國策ノ立案及遂行ニ協力スルコトヲ目的トス
第二條 本會ハ重要産業團體令ニ依リ設立シ鐵道軌道統制會ト稱ス
第三條 本會ハ事務所ヲ東京市ニ置ク
會長必要アリト認ムルトキハ支部又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得
第四條 本會ノ公告ハ官報ヲ以テ之ヲ爲ス

第二章 會 員

第五條 本會ハ地方鐵道事業又ハ軌道事業ヲ營ム者ニシテ鐵道大臣ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 專用鐵道ヲ有スル者ニシテ鐵道大臣ノ承認ヲ受ケタルモノハ本會ニ加入スルコトヲ得

第三章 事 業

第十八條關係

第七條 本會ハ第一條ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 交通ニ關スル政府ノ計畫並ニ地方鐵道事業及軌道事業ニ要スル資材、資金、勞務等ノ需給ニ關スル政府ノ計畫ニ對スル參畫
 - 二 會員ノ地方鐵道事業及軌道事業ノ運營ニ關スル統制指導
 - 三 地方鐵道事業及軌道事業ノ整備確立
 - 四 地方鐵道事業及軌道事業ニ於ケル技術ノ向上、能率ノ增進、規格ノ統一、經理ノ改善其ノ他事業ノ發達ニ關スル施設
 - 五 地方鐵道事業及軌道事業ニ要スル資材及資金ノ需給ニ關スル統制指導
 - 六 地方鐵道事業及軌道事業ニ要スル技術者及勞務者ノ確保
 - 七 地方鐵道事業及軌道事業ニ關スル調査及研究
 - 八 會員ノ地方鐵道事業及軌道事業ニ關スル檢査
 - 九 會員ノ專用鐵道ニ關シ前各號ニ準ズル事業
 - 十 前各號ニ掲グルモノノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 第八條 會員ノ地方鐵道事業及軌道事業ノ統制ニ關シテハ統制規程ノ定ムル所ニ依ル
- 第九條 前二條ノ外本會ノ事業ノ執行ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第四章 役員

第十條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一人
- 理事長 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人

第十一條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

理事長ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ會長及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會長ノ定メタル順位ニ依リ會長及理事長共ニ事故アルトキハ會長ノ職務ヲ代理シ會長及理事長共ニ缺員ノトキハ會長ノ職務ヲ行フ

監事ハ本會ノ財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會長ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會長ニ對シ意見ヲ具申ス

第十二條 會長ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ニシテ鐵道大臣ノ命ジタルモノトス

理事長又理事ハ鐵道事業及軌道事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズ

第十八條關係

評議員ハ鐵道事業及軌道事業ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ會長之ヲ命ズ
監事ハ評議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ之ヲ選任ス

第十三條 役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會長 三年
- 理事長 三年
- 理事 三年
- 監事 二年
- 評議員 二年

會長必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケ理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

補缺ノ爲任命又ハ選任セラレタル者ノ任期ハ其ノ前任者ノ在任スベカリシ期間トス

第十四條 會長、理事長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五章 會議

第十五條 會議ヲ分チテ總會及評議員會トス

總會ハ會員ヲ以テ之ヲ組織シ評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

(連十二) 八二二

(連十二) 八二三

第十六條 總會ハ定時總會及臨時總會ノ二種トシ定時總會ハ每事業年度終了後二月以内ニ之ヲ開催シ臨時總會ハ會長必要アリト認メタルトキ之ヲ開催ス

前項ノ事業年度ハ一年トシ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

總會ハ會長之ヲ紹集ス

總會ヲ紹集スルニハ會員ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ紹集ノ通知ヲ發ス

總會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ニ諮リ會長之ヲ決ス

- 一 定款ノ變更
 - 二 收支豫算
 - 三 第二十三條及第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法
- 第十八條 會長ハ毎年定時總會ニ本會ノ事業ノ狀況ヲ報告シ監事ヲシテ財産ノ狀況ヲ報告セシム

第十九條 評議員會ハ會長必要ト認ムルトキ之ヲ開催ス

評議員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

第六章 事務局

第十八條關係

第二十條 本會ノ事務ヲ處理スル爲本會ニ事務局ヲ置ク

第二十一條 理事長ハ會長ノ指揮監督ヲ受ケ事務局ヲ統轄ス

第二十二條 前二條ノ外事務分掌職員其ノ他事務局ニ關スル事項ニ付テハ會長之ヲ定ム

第七章 會計

第二十三條 本會ハ會員ニ對シ其ノ經費ヲ賦課ス

第二十四條 本會ハ其ノ事業ヲ行フ爲必要アルトキハ鐵道大臣ノ認可ヲ受ケ會員ノ全部又ハ一部ニ對シ前條ノ規定ニ依ル賦課金ノ外特別ノ賦課金ヲ課スルコトヲ得

第二十五條 前二條ノ規定ニ依ル賦課金ノ徵收ニ關シテハ會長ノ定ムル所ニ依ル

第二十六條 本會ノ會計年度ハ第十六條ニ定ムル事業年度ニ依ル

第八章 解散及清算

第二十七條 本會ハ鐵道大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第二十八條 清算人ハ鐵道大臣ノ解散通知ニ基キ裁判所ノ選任シタル者之ニ當ル

第二十九條 清算人ハ本會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十條 清算人ハ裁判所ノ認可ヲ受ケ清算及財産處分ノ方法ヲ定ム

第三十一條 本會ハ解散ノ後ト雖モ裁判所ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

第九章 過怠金

第三十二條 本會ハ定款ニ違反シタル會員ニ對シ五千圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第三十三條 本會ハ統制規程ニ違反シタル會員ニ對シ壹萬圓以下ノ過怠金ヲ課スルコトヲ得

重要産業團體令第二十四條第一項ノ規定ニ依リ昭和十七年九月二十二日鐵道軌道統制會ノ統制規程設定ノ件左ノ

通認可シタリ

(昭和十七年九月二十八日 鐵道省、內務省告示第三號)

鐵道軌道統制會統制規程

第一條 會員ハ一定期間毎ニ輸送施設整備計畫書ヲ會長ニ提出スヘシ

前項ノ輸送施設整備計畫書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一、輸送施設ノ新設、改良又ハ保守ニ關スル計畫内容

二、前號計畫ノ實施ニ要スル資材ノ數量及工費豫算

三、前號ノ資材及資金ノ調達方法

四、新設、改良又ハ保守ヲ必要トスル具體的理由

五、著手豫定及完成豫定ノ期日

第十八條關係